

熊本県立大学講義棟2号館その他空調設備（AHU等）改修工事

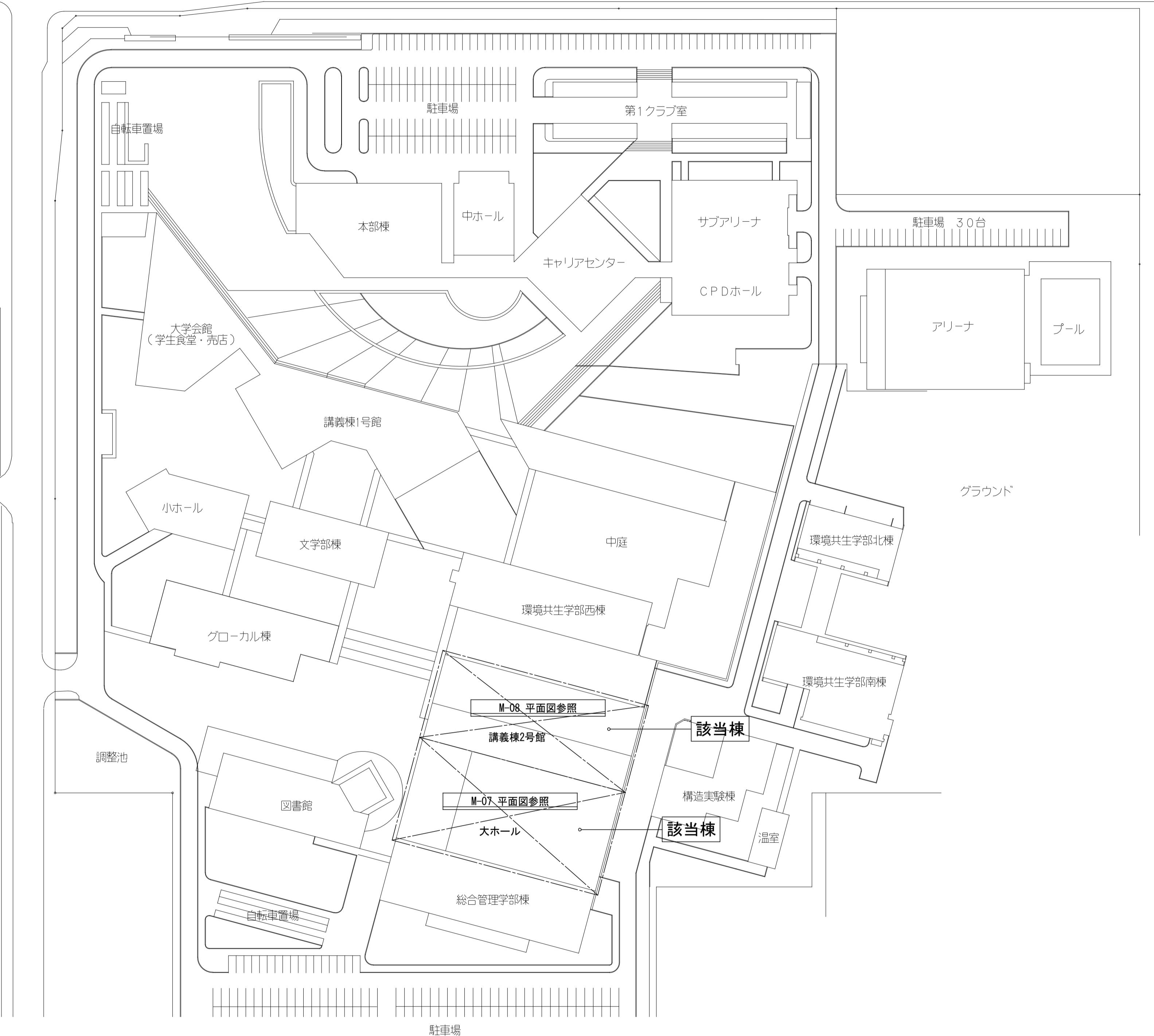
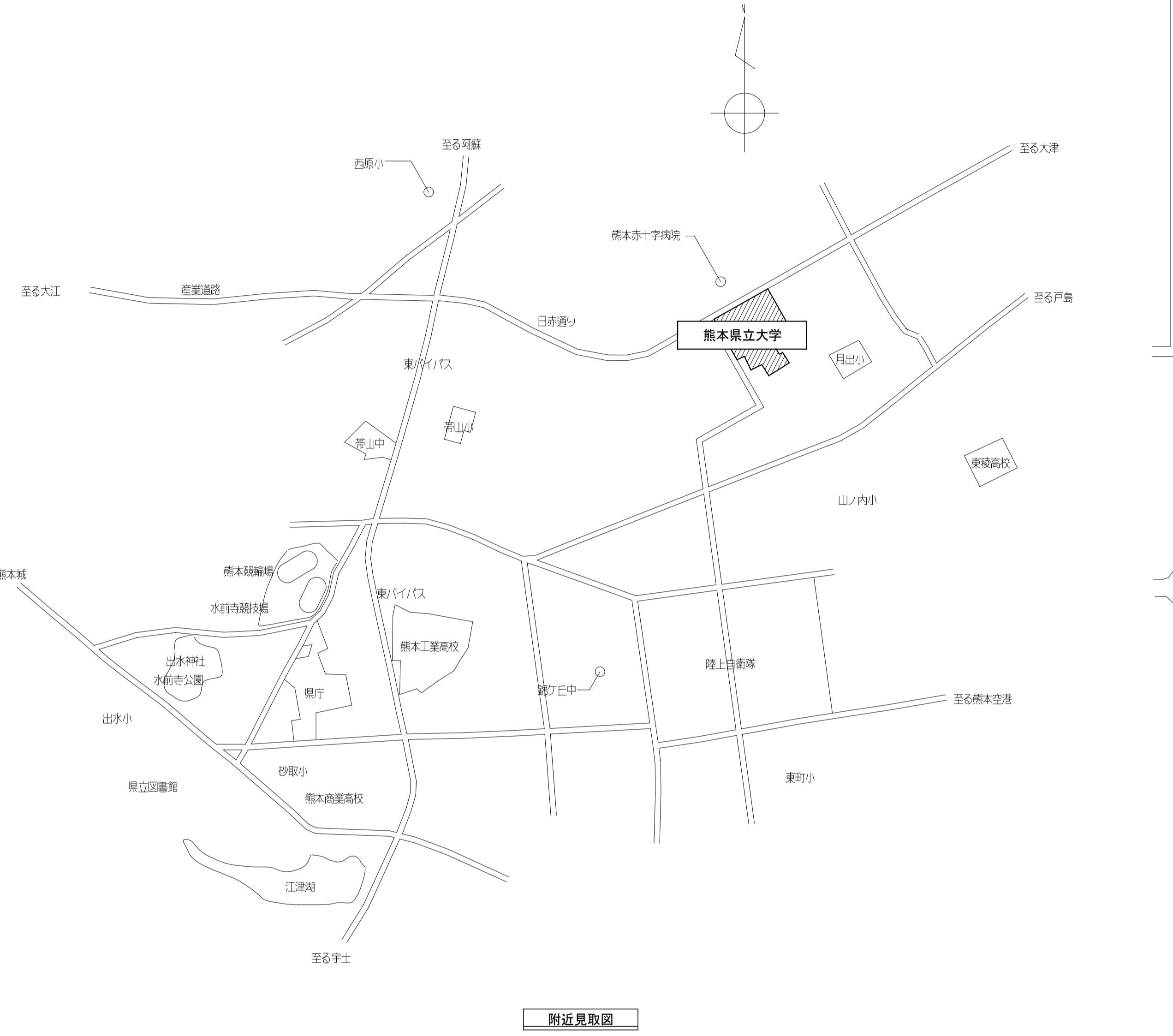
図面番号	図面名称	SCALE	図面番号	図面名称	SCALE
M-00	表紙・図面リスト	—	M-12	空気調和設備 3階平面詳細図(改修後・改修前)(講義棟2号館)	A1:1/50 A3:1/100
M-01	機械設備工事特記仕様書(その1)	—	M-13	自動制御設備 2階、3階平面詳細図(改修後・改修前)(講義棟2号館)	A1:1/50 A3:1/100
M-02	機械設備工事特記仕様書(その2)	—	M-14	自動制御設備 計装図(1)(改修後・改修前)(大ホール)	—
M-03	付近見取図・配置図	A1:1/800 A3:1/1600	M-15	自動制御設備 計装図(2)(改修後・改修前)(講義棟2号館)	—
M-04	空気調和設備 機器一覧表(改修後・改修前)	—	M-16	自動制御設備 機器表・バルブ口径表	—
M-05	空気調和設備(配管) 系統図(改修後・改修前)(大ホール)	—	M-17	自動制御設備 中央管理点入出力一覧表・中央監視系統図	—
M-06	空気調和設備(配管・ダクト) 系統図(改修後・改修前)(講義棟2号館)	—	M-18	自動制御設備 動力負荷表(改修後・改修前)	—
M-07	空気調和設備 B1階、1階、2階、R階平面図(大ホール)	A1:1/200 A3:1/400	M-19	自動制御設備 参考結線図	—
M-08	空気調和設備 1階、2階、3階平面図(講義棟2号館)	A1:1/200 A3:1/400	M-20	動力設備 1階、2階、3階平面図(講義棟2号館)	A1:1/200 A3:1/400
M-09	空気調和設備・自動制御設備 B1階平面詳細図(改修後・改修前)(大ホール)	A1:1/100 A3:1/200	M-21	動力設備 2階平面図(大ホール)	A1:1/100 A3:1/200
M-10	空気調和設備・自動制御設備 R階平面詳細図(改修後・改修前)(大ホール)	A1:1/100 A3:1/200	M-22	動力設備 R階平面図(大ホール)	A1:1/100 A3:1/200
M-11	空気調和設備 2階平面詳細図(改修後・改修前)(講義棟2号館)	A1:1/50 A3:1/100			

機械設備工事特記仕様書																																																																																																																																																																														
I 工事概要 1 工事名称 熊本県立大学講義棟2号館その他空調設備(AHU等)改修工事 2 工事場所 熊本市東区月出三丁目1番100号 地内 3 建物概要		II 特記事項 1 本工事の契約は、図面及び仕様書に基づくものとし、添付の工事内訳書は参考とする。 2 図面及び仕様書に記載されている製品及び部品名は、製品の仕様を示すものと扱うこと。 3 契約締結後工事着手や前に提出すること。規範代理業者及び監理(監理)技術者を通じては、受注者に所属し、かつ、必要資格を有することが確認できる書類を添付すること。 4 建設業職員共済制度の「掛金収取書」及ぼ建物災害補償共済制度の「加入証明書」(厚生省)もしくは労働災害使用者賃借責任保険等加入を証する書類を契約後1月以内に提出すること。 5 特記仕様書に記載されている監督員の承認、監督員との協議その他の要領については、工事監理要領に定めるところによる。 6 使用材料及び下請業者については、県産資材、県内企業及び誇致企業の採用に努めること。なお、県産資材、県内企業及び誇致企業とは、以下に該当するものをいふ。 (1) 県産資材とは、県内に生産、生産又は製造されたものをいふ。 (2) 県内企業とは、県内に生産する資業者を置く建設事業者をいふ。 (3) 誇致企業とは、県内に誇致された企業をいふ。 7 本工事は電子納品方式で工事をする。 8 動力回路等による不当要件又は工事妨害(以下「不当介入」という。)を受けた場合は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。 なお、遮断しないことと判明した場合は、指示停止等の措置を行なう。正正に対処する。 ① 不当介入を受けた場合は、毅然としてこれを拒否し、不当介入があった時点で速やかに管轄警察署へ通報し、捜査上必要な協力をすること。 ② 警察に通報等を行なった内容について書面により速やかに発注者に報告すること。また、不当介入を受けたことにより、工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。																																																																																																																																																																												
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">建物名称</th> <th style="text-align: left;">構造</th> <th style="text-align: left;">階数</th> <th style="text-align: left;">延面積 (m²)</th> <th style="text-align: left;">消防法施行令別表第1区分</th> <th style="text-align: left;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 大講義棟</td> <td>RC</td> <td>B1+2F</td> <td>1,499.9</td> <td>7項</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2 講義棟2号館</td> <td>RC</td> <td>3F</td> <td>2,670.85</td> <td>7項</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		建物名称	構造	階数	延面積 (m ²)	消防法施行令別表第1区分	備考	1 大講義棟	RC	B1+2F	1,499.9	7項		2 講義棟2号館	RC	3F	2,670.85	7項		3						<p>※ 建築基準法に基づき定められた風速 (V0) (m/sec)</p> <p>※ 建築基準法に基づき定められた積雪荷重 ()</p> <p>※ 地表面粗度区分 I II III IV</p>																																																																																																																																																				
建物名称	構造	階数	延面積 (m ²)	消防法施行令別表第1区分	備考																																																																																																																																																																									
1 大講義棟	RC	B1+2F	1,499.9	7項																																																																																																																																																																										
2 講義棟2号館	RC	3F	2,670.85	7項																																																																																																																																																																										
3																																																																																																																																																																														
4 工事項目 (電気設備工事) ○印を付したもの		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">建物名</th> <th style="text-align: left;">1</th> <th style="text-align: left;">2</th> <th style="text-align: left;">3</th> <th style="text-align: left;">4</th> <th style="text-align: left;">屋外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 電灯・コンセント設備</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2 鈴線・動力設備</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 電熱設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4 雷保護設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5 受電変圧器</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6 電力測定設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>7 発電設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>8 構内情報通信網設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>9 電話・構内交換設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10 情報表示設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>11 映像・音響設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>12 抗雪設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>13 誘導標識設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>14 呼出設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>15 テレビ共同受信設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>16 テレビ電波障害防除設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>17 監視カメラ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>18 入退室警報設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>19 自動火災警報設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>20 自動閉鎖・非常警報設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>21 中央制御制御設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>22 防犯設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>23 電気時計設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>24 外灯設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>25 構内配電線路</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>26 構内弱電線路</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>27 敷去工事</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					建物名	1	2	3	4	屋外	1 電灯・コンセント設備	○	○				2 鈴線・動力設備	○	○				3 電熱設備						4 雷保護設備						5 受電変圧器						6 電力測定設備						7 発電設備						8 構内情報通信網設備						9 電話・構内交換設備						10 情報表示設備						11 映像・音響設備						12 抗雪設備						13 誘導標識設備						14 呼出設備						15 テレビ共同受信設備						16 テレビ電波障害防除設備						17 監視カメラ						18 入退室警報設備						19 自動火災警報設備						20 自動閉鎖・非常警報設備						21 中央制御制御設備						22 防犯設備						23 電気時計設備						24 外灯設備						25 構内配電線路						26 構内弱電線路						27 敷去工事	○	○			
建物名	1	2	3	4	屋外																																																																																																																																																																									
1 電灯・コンセント設備	○	○																																																																																																																																																																												
2 鈴線・動力設備	○	○																																																																																																																																																																												
3 電熱設備																																																																																																																																																																														
4 雷保護設備																																																																																																																																																																														
5 受電変圧器																																																																																																																																																																														
6 電力測定設備																																																																																																																																																																														
7 発電設備																																																																																																																																																																														
8 構内情報通信網設備																																																																																																																																																																														
9 電話・構内交換設備																																																																																																																																																																														
10 情報表示設備																																																																																																																																																																														
11 映像・音響設備																																																																																																																																																																														
12 抗雪設備																																																																																																																																																																														
13 誘導標識設備																																																																																																																																																																														
14 呼出設備																																																																																																																																																																														
15 テレビ共同受信設備																																																																																																																																																																														
16 テレビ電波障害防除設備																																																																																																																																																																														
17 監視カメラ																																																																																																																																																																														
18 入退室警報設備																																																																																																																																																																														
19 自動火災警報設備																																																																																																																																																																														
20 自動閉鎖・非常警報設備																																																																																																																																																																														
21 中央制御制御設備																																																																																																																																																																														
22 防犯設備																																																																																																																																																																														
23 電気時計設備																																																																																																																																																																														
24 外灯設備																																																																																																																																																																														
25 構内配電線路																																																																																																																																																																														
26 構内弱電線路																																																																																																																																																																														
27 敷去工事	○	○																																																																																																																																																																												
5 工事項目 (機械設備工事) ○印を付したもの		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">建物種別及び屋外</th> <th style="text-align: left;">1</th> <th style="text-align: left;">2</th> <th style="text-align: left;">3</th> <th style="text-align: left;">4</th> <th style="text-align: left;">屋外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 空気調和設備</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2 換気設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 排煙設備</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4 自動制御設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5 衛生器具設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6 給水設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>7 排水設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>8 給湯設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>9 消火設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10 厕房設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>11 ガス設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>12 清化槽設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>13 導降機設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>14 敷去工事</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					建物種別及び屋外	1	2	3	4	屋外	1 空気調和設備	○	○				2 換気設備						3 排煙設備	○	○				4 自動制御設備						5 衛生器具設備						6 給水設備						7 排水設備						8 給湯設備						9 消火設備						10 厕房設備						11 ガス設備						12 清化槽設備						13 導降機設備						14 敷去工事	○	○																																																																																	
建物種別及び屋外	1	2	3	4	屋外																																																																																																																																																																									
1 空気調和設備	○	○																																																																																																																																																																												
2 換気設備																																																																																																																																																																														
3 排煙設備	○	○																																																																																																																																																																												
4 自動制御設備																																																																																																																																																																														
5 衛生器具設備																																																																																																																																																																														
6 給水設備																																																																																																																																																																														
7 排水設備																																																																																																																																																																														
8 給湯設備																																																																																																																																																																														
9 消火設備																																																																																																																																																																														
10 厕房設備																																																																																																																																																																														
11 ガス設備																																																																																																																																																																														
12 清化槽設備																																																																																																																																																																														
13 導降機設備																																																																																																																																																																														
14 敷去工事	○	○																																																																																																																																																																												
6 設備概要 (機械設備工事) ○印を付したもの		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">建物種別及び屋外</th> <th style="text-align: left;">1</th> <th style="text-align: left;">2</th> <th style="text-align: left;">3</th> <th style="text-align: left;">4</th> <th style="text-align: left;">屋外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空気調和方式</td> <td>○ダクト方式 (・中央 ○各階ユニット) • FCU方式</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>主要熱源機器</td> <td>・空気熱源ヒートポンプユニット ○吸収冷温水機 ○吸収冷温水機ユニット</td> <td>・パッケージ型空気調和機</td> <td>・マルチパッケージ型空気調和機</td> <td>・ガスエンジンヒートポンプ式空調調和機</td> <td></td> </tr> <tr> <td>換気設備</td> <td>機械換気 (・有・無)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>排煙設備</td> <td>機械排煙 (・有・無)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>自動制御設備</td> <td>○電気式 • 電子式</td> <td>• デジタル式</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>給水設備</td> <td>・水道直結方式</td> <td>・高層タワー方式 (・上水・井水・中水)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>排水設備</td> <td>・ポンプ直送方式 (・上水・井水・中水)</td> <td></td> <td>・増圧ポンプ方式</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>排 水 設 備</td> <td>建物内の污水と雨水 (・分流)</td> <td>・合流</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ポンプ排水 (・有り)</td> <td>・雨水</td> <td>・雑排水</td> <td>・汚水</td> <td>・無</td> </tr> <tr> <td></td> <td>污水放流先 (・公共下水道)</td> <td></td> <td>・上水道</td> <td>・下水道</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>雑排水放流先 (・公共下水道)</td> <td></td> <td>・上水道</td> <td>・下水道</td> <td></td> </tr> <tr> <td>消火設備</td> <td>・屋内消火栓 (・1号・2号)</td> <td>・屋外消火栓</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・連絡送水</td> <td>・連結散水</td> <td>・泡消火</td> <td>・スプリンクラー</td> <td>・ハロゲン化物消火</td> </tr> <tr> <td></td> <td>二酸化炭素消火</td> <td>新ガス系消火</td> <td>・フード用簡易自動消火</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガス設備</td> <td>・都市ガス (供給業者名)</td> <td>種別</td> <td>発熱量 MJ/m³</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					建物種別及び屋外	1	2	3	4	屋外	空気調和方式	○ダクト方式 (・中央 ○各階ユニット) • FCU方式					主要熱源機器	・空気熱源ヒートポンプユニット ○吸収冷温水機 ○吸収冷温水機ユニット	・パッケージ型空気調和機	・マルチパッケージ型空気調和機	・ガスエンジンヒートポンプ式空調調和機		換気設備	機械換気 (・有・無)					排煙設備	機械排煙 (・有・無)					自動制御設備	○電気式 • 電子式	• デジタル式				給水設備	・水道直結方式	・高層タワー方式 (・上水・井水・中水)				排水設備	・ポンプ直送方式 (・上水・井水・中水)		・増圧ポンプ方式			排 水 設 備	建物内の污水と雨水 (・分流)	・合流					ポンプ排水 (・有り)	・雨水	・雑排水	・汚水	・無		污水放流先 (・公共下水道)		・上水道	・下水道			雑排水放流先 (・公共下水道)		・上水道	・下水道		消火設備	・屋内消火栓 (・1号・2号)	・屋外消火栓					・連絡送水	・連結散水	・泡消火	・スプリンクラー	・ハロゲン化物消火		二酸化炭素消火	新ガス系消火	・フード用簡易自動消火			ガス設備	・都市ガス (供給業者名)	種別	発熱量 MJ/m ³																																																																										
建物種別及び屋外	1	2	3	4	屋外																																																																																																																																																																									
空気調和方式	○ダクト方式 (・中央 ○各階ユニット) • FCU方式																																																																																																																																																																													
主要熱源機器	・空気熱源ヒートポンプユニット ○吸収冷温水機 ○吸収冷温水機ユニット	・パッケージ型空気調和機	・マルチパッケージ型空気調和機	・ガスエンジンヒートポンプ式空調調和機																																																																																																																																																																										
換気設備	機械換気 (・有・無)																																																																																																																																																																													
排煙設備	機械排煙 (・有・無)																																																																																																																																																																													
自動制御設備	○電気式 • 電子式	• デジタル式																																																																																																																																																																												
給水設備	・水道直結方式	・高層タワー方式 (・上水・井水・中水)																																																																																																																																																																												
排水設備	・ポンプ直送方式 (・上水・井水・中水)		・増圧ポンプ方式																																																																																																																																																																											
排 水 設 備	建物内の污水と雨水 (・分流)	・合流																																																																																																																																																																												
	ポンプ排水 (・有り)	・雨水	・雑排水	・汚水	・無																																																																																																																																																																									
	污水放流先 (・公共下水道)		・上水道	・下水道																																																																																																																																																																										
	雑排水放流先 (・公共下水道)		・上水道	・下水道																																																																																																																																																																										
消火設備	・屋内消火栓 (・1号・2号)	・屋外消火栓																																																																																																																																																																												
	・連絡送水	・連結散水	・泡消火	・スプリンクラー	・ハロゲン化物消火																																																																																																																																																																									
	二酸化炭素消火	新ガス系消火	・フード用簡易自動消火																																																																																																																																																																											
ガス設備	・都市ガス (供給業者名)	種別	発熱量 MJ/m ³																																																																																																																																																																											
※ 注意事項		① 工事資材・機材、建設副資材等の過積載をしないこと。 ② 過積載を行なっている資材を納入業者から、資材を購入しないこと。 ③ 資材等の過積載を防止するため、資材の購入等に当たっては、資材納入業者の利益を不当に害することの無いようにすること。 ④ 既存の装置又は物品積荷装置の不正改造をしたダンプトラック等が、工事現場に出入りしないようにすること。 ⑤ 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ同団体への加入者の使用に努めること。 ⑥ 下請け契約の相手方又是資材納入業者の選定にあたっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。 ⑦ ①から⑥の事項につき、下請け契約における受注者を指導すること。																																																																																																																																																																												
機械設備工事特記仕様書		公立大学法人 熊本県立大学																																																																																																																																																																												
		建築士事務所名 株式会社 本田設計コンサルタント	建築士事務所 熊本県知事登録 1805 号 建築士 登録第 349038 号 本田直也 印	工事名称 熊本県立大学講義棟2号館その他空調設備(AHU等)改修工事	図面番号 M-01																																																																																																																																																																									

項 目		特 記 事 項																																																																																																	
○ 1 機器等の配置		設計図において機器の配置は、数量及び関係位置のみを示し、正確な位置はさらに打合せを必要とする																																																																																																	
○ 2 機器等の検査及び試験		検査及び試験を行うべき機材等は、標準仕様書によるほか、監督員の指示による (1.1.4.5) (1.1.4.6)																																																																																																	
○ 3 容量などの表示		(1) 機器類の能力、容量等(電動機出力は除く)は原則として表示された数値以上とすること (2) 電動機出力は原則として表示された数値以下の容量とすること																																																																																																	
○ 4 施工		機器設備の固定は、次に示す項目を除き、すべて「建築設備耐震設計・施工指針(独立行政法人建築研究所監修 2014年版)」による (1) 設計用水平地震力 機器の重量(自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効重量)[kN]に、 次に示す設計用標準震度を乗じたものとする																																																																																																	
局部震度法による建築設備機器の設計用標準震度(Ks)		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">設 営 所</th> <th colspan="2">周 围 安 全 の 分 類</th> <th colspan="2">※地盤係数 Z=1.0 としている</th> </tr> <tr> <th colspan="2">・ 時 定 の 建 築</th> <th colspan="2">○ 一 般 の 建 築</th> <th colspan="2">※該当する施設に○をつけること</th> </tr> <tr> <th>重 量(標準Ks)</th> <th>一 般(標準Ks)</th> <th>重 量(標準Ks)</th> <th>一 般(標準Ks)</th> <th>※ 下記に示すのは、重要機器、重要水槽とする</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上層階、屋上及び塔屋 (2.0)</td><td>2.0</td> <td>1.5</td><td>1.5</td> <td>1.0</td><td>1.0</td> </tr> <tr> <td></td><td>(2.0)</td><td>(2.0)</td><td>(2.0)</td><td>(1.5)</td><td></td> </tr> <tr> <td>中層階 (1.5)</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td> <td>0.6</td><td>0.6</td> </tr> <tr> <td>1階及び地下階 (1.0)</td><td>1.0</td><td>0.6</td><td>1.0</td> <td>0.4</td><td>0.6</td> </tr> <tr> <td></td><td>(1.0)</td><td>(1.0)</td><td>(1.0)</td><td>(0.6)</td><td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 上層階の定義は次による 注: () 円括弧の数値は防振機器とする</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建 築 階 数</th> <th>上 層 階</th> <th>建 築 階 数</th> <th>上 层 階</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2~6階建</td> <td>最上階</td> <td>10~12階建</td> <td>上層3階</td> </tr> <tr> <td>7~9階建</td> <td>上層2階</td> <td>13階建</td> <td>上層4階</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 天井から吊る空調室内機、全熱交換器等は振止めを施すこと ※ 形鋼底止め支持する横支管の末端部に形鋼止めを施すこと (2) 設計用鉛直地震力 設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の1/2とした値とする</p>	設 営 所		周 围 安 全 の 分 類		※地盤係数 Z=1.0 としている		・ 時 定 の 建 築		○ 一 般 の 建 築		※該当する施設に○をつけること		重 量(標準Ks)	一 般(標準Ks)	重 量(標準Ks)	一 般(標準Ks)	※ 下記に示すのは、重要機器、重要水槽とする		上層階、屋上及び塔屋 (2.0)	2.0	1.5	1.5	1.0	1.0		(2.0)	(2.0)	(2.0)	(1.5)		中層階 (1.5)	1.5	1.0	1.0	0.6	0.6	1階及び地下階 (1.0)	1.0	0.6	1.0	0.4	0.6		(1.0)	(1.0)	(1.0)	(0.6)		建 築 階 数	上 層 階	建 築 階 数	上 层 階	2~6階建	最上階	10~12階建	上層3階	7~9階建	上層2階	13階建	上層4階																																					
設 営 所		周 围 安 全 の 分 類		※地盤係数 Z=1.0 としている																																																																																															
・ 時 定 の 建 築		○ 一 般 の 建 築		※該当する施設に○をつけること																																																																																															
重 量(標準Ks)	一 般(標準Ks)	重 量(標準Ks)	一 般(標準Ks)	※ 下記に示すのは、重要機器、重要水槽とする																																																																																															
上層階、屋上及び塔屋 (2.0)	2.0	1.5	1.5	1.0	1.0																																																																																														
	(2.0)	(2.0)	(2.0)	(1.5)																																																																																															
中層階 (1.5)	1.5	1.0	1.0	0.6	0.6																																																																																														
1階及び地下階 (1.0)	1.0	0.6	1.0	0.4	0.6																																																																																														
	(1.0)	(1.0)	(1.0)	(0.6)																																																																																															
建 築 階 数	上 層 階	建 築 階 数	上 层 階																																																																																																
2~6階建	最上階	10~12階建	上層3階																																																																																																
7~9階建	上層2階	13階建	上層4階																																																																																																
5 建物導入部の変位吸収		・ 図示による ※ 標準図 施工4、5 (・ (a) ・ (b) ・ (c)) による (・ 給水 ・ ガス ・ 消火 ・)																																																																																																	
6 建物EXPJの変位吸収		・ 図示による ※ 標準図 施工7 (・ (a) ・ (b) ・ (c)) による (・ 給水 ・ ガス ・ 消火 ・) (2.4.1)																																																																																																	
○ 7 総合調整		※ 各機器の個別運転後に下記の総合調整を行い、測定報告書を提出する 改修工事では影響のある範囲で行う (2.1.3.2) ○ 風量調整・水量調整 ○ 室内外空気の温湿度の測定 ○ 驚音の測定 ○ 飲料水の水質判定 (箇所)																																																																																																	
○ 8 配管工事		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">管種</th> <th colspan="2">保溫材</th> <th colspan="2">保溫外装</th> </tr> <tr> <td colspan="2">(屋内露出)</td> <td colspan="2">(屋外露出)</td> <td colspan="2">(遮蔽)</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ 冷却水</td> <td>・CGP(白) ・STPG370 ・SUS304</td> <td>・OG ・R ・P</td> <td>合成樹脂カバー1</td> <td>溶噴アミコム亜鉛鋼板</td> <td>着色アルマガラスロス</td> </tr> <tr> <td>○ 液却水</td> <td>・CGP(白) ・SGP-VA ・SUS304</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>蒸気</td> <td>・SGP(黒) ・STPG370 ・SUS304</td> <td>・G ・R</td> <td>合成樹脂カバー1</td> <td>溶噴アミコム亜鉛鋼板</td> <td>着色アルマガラスロス</td> </tr> <tr> <td>高圧水</td> <td>・SGP(黒) ・STPG370 ・SUS304</td> <td>・G ・R</td> <td>合成樹脂カバー1</td> <td>溶噴アミコム亜鉛鋼板</td> <td>着色アルマガラスロス</td> </tr> <tr> <td>油</td> <td>・SGP(黒)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>冷却水</td> <td>・断熱材被覆鋼管 (JGDA0600)シングル</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>○ 鋼板塗面</td> <td>・SCP-VA ・SCP-VB ・SUS304</td> <td>・G ・R ・P</td> <td>合成樹脂カバー1</td> <td>溶噴アミコム亜鉛鋼板</td> <td>着色アルマガラスロス</td> </tr> <tr> <td>(屋外)</td> <td>・HI-VP ・SGP-VD ・SUS304</td> <td>・G ・R ・P</td> <td>—</td> <td>溶噴アミコム亜鉛鋼板</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>給湯</td> <td>・SCP-VA</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>消防</td> <td>・SCP(白) ・STPG370</td> <td>・G ・R ・P</td> <td>合成樹脂カバー1</td> <td>溶噴アミコム亜鉛鋼板</td> <td>着色アルマガラスロス</td> </tr> <tr> <td>排水(屋内)</td> <td>○ VP ・REVP-VP ・雨下水管</td> <td>・OG ・R ・P</td> <td>合成樹脂カバー1</td> <td>—</td> <td>アミコムガラスロス</td> </tr> <tr> <td>(屋外)</td> <td>・VP ・VU ・REPV-VP</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>通気</td> <td>・SGP(白) ・ガス用シリコン管</td> <td>・G ・R ・P</td> <td>合成樹脂カバー1</td> <td>溶噴アミコム亜鉛鋼板</td> <td>アミコムガラスロス</td> </tr> <tr> <td>排水(屋外)</td> <td>・SGP(白) ・雨下水管</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注: GIHグラウエル、Rはロックワール、Pはリリースレンジフォーム 注: SUS管接合は () とする (2.2.1.2)~(2.3.1.5)</p>	管種		保溫材		保溫外装		(屋内露出)		(屋外露出)		(遮蔽)		○ 冷却水	・CGP(白) ・STPG370 ・SUS304	・OG ・R ・P	合成樹脂カバー1	溶噴アミコム亜鉛鋼板	着色アルマガラスロス	○ 液却水	・CGP(白) ・SGP-VA ・SUS304	—	—	—	—	蒸気	・SGP(黒) ・STPG370 ・SUS304	・G ・R	合成樹脂カバー1	溶噴アミコム亜鉛鋼板	着色アルマガラスロス	高圧水	・SGP(黒) ・STPG370 ・SUS304	・G ・R	合成樹脂カバー1	溶噴アミコム亜鉛鋼板	着色アルマガラスロス	油	・SGP(黒)	—	—	—	—	冷却水	・断熱材被覆鋼管 (JGDA0600)シングル	—	—	—	—	○ 鋼板塗面	・SCP-VA ・SCP-VB ・SUS304	・G ・R ・P	合成樹脂カバー1	溶噴アミコム亜鉛鋼板	着色アルマガラスロス	(屋外)	・HI-VP ・SGP-VD ・SUS304	・G ・R ・P	—	溶噴アミコム亜鉛鋼板	—	給湯	・SCP-VA	—	—	—	—	消防	・SCP(白) ・STPG370	・G ・R ・P	合成樹脂カバー1	溶噴アミコム亜鉛鋼板	着色アルマガラスロス	排水(屋内)	○ VP ・REVP-VP ・雨下水管	・OG ・R ・P	合成樹脂カバー1	—	アミコムガラスロス	(屋外)	・VP ・VU ・REPV-VP	—	—	—	—	通気	・SGP(白) ・ガス用シリコン管	・G ・R ・P	合成樹脂カバー1	溶噴アミコム亜鉛鋼板	アミコムガラスロス	排水(屋外)	・SGP(白) ・雨下水管	—	—	—	—	
管種		保溫材		保溫外装																																																																																															
(屋内露出)		(屋外露出)		(遮蔽)																																																																																															
○ 冷却水	・CGP(白) ・STPG370 ・SUS304	・OG ・R ・P	合成樹脂カバー1	溶噴アミコム亜鉛鋼板	着色アルマガラスロス																																																																																														
○ 液却水	・CGP(白) ・SGP-VA ・SUS304	—	—	—	—																																																																																														
蒸気	・SGP(黒) ・STPG370 ・SUS304	・G ・R	合成樹脂カバー1	溶噴アミコム亜鉛鋼板	着色アルマガラスロス																																																																																														
高圧水	・SGP(黒) ・STPG370 ・SUS304	・G ・R	合成樹脂カバー1	溶噴アミコム亜鉛鋼板	着色アルマガラスロス																																																																																														
油	・SGP(黒)	—	—	—	—																																																																																														
冷却水	・断熱材被覆鋼管 (JGDA0600)シングル	—	—	—	—																																																																																														
○ 鋼板塗面	・SCP-VA ・SCP-VB ・SUS304	・G ・R ・P	合成樹脂カバー1	溶噴アミコム亜鉛鋼板	着色アルマガラスロス																																																																																														
(屋外)	・HI-VP ・SGP-VD ・SUS304	・G ・R ・P	—	溶噴アミコム亜鉛鋼板	—																																																																																														
給湯	・SCP-VA	—	—	—	—																																																																																														
消防	・SCP(白) ・STPG370	・G ・R ・P	合成樹脂カバー1	溶噴アミコム亜鉛鋼板	着色アルマガラスロス																																																																																														
排水(屋内)	○ VP ・REVP-VP ・雨下水管	・OG ・R ・P	合成樹脂カバー1	—	アミコムガラスロス																																																																																														
(屋外)	・VP ・VU ・REPV-VP	—	—	—	—																																																																																														
通気	・SGP(白) ・ガス用シリコン管	・G ・R ・P	合成樹脂カバー1	溶噴アミコム亜鉛鋼板	アミコムガラスロス																																																																																														
排水(屋外)	・SGP(白) ・雨下水管	—	—	—	—																																																																																														
○ 9 エア抜弁		・ 手動 (1) 水用 弁箱 (○ 青銅製 ・ SUS製) フロート (・ SUS製 ・ 合成樹脂製) (2.2.2.5) ○ 自動 (2) 蒸気用 弁箱 (・ 青銅製 ・ 鋼鉄製) ベローズ (・ 青銅製 ・ SUS製)																																																																																																	
10 絶縁兼手		※ 異種管の接合要領は図示が無い場合は、標準図(施工3)による (2.2.2.12)																																																																																																	
11 ポールタップ		※ ステンレス製・鋼板ろう付け・樹脂製 (2.2.2.20)																																																																																																	
12 水栓柱		・ 人造石とぎ出し製 (寸法 □70mm 全長 1300mm) ・ 合成樹脂製 ・ ステンレス製 ・ アルミニウム合金製 (2.2.2.25)																																																																																																	
13 スリーブ		※ 水密を要する部分(つば付き钢管製) (2.2.2.27)																																																																																																	
○ 14 支持金物		屋外機器及び屋内、ビット内配管に使用する支持金物 ※ SUS製 ・ 溶融亜鉛めっき (2.2.6.3) 屋外機器のアンカーボルト ※ キヤッキン(防錆剤)を取付ける 取付けない 振動を伴う機器の固定金具のナットはダブルナットとする																																																																																																	
15 地中埋設表示用テープ		排水管を除き、地中埋設配管にはペリル製埋設テープ(ダブル)を敷設すること (2.2.7.1)																																																																																																	
16 はつり		既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる																																																																																																	
17 塗装		塗装を屋内に使用する場合のホルムアルデヒド放散量は、F☆☆☆☆とする (2.3.2.1) 仕上げの色合いは、見本帳には見本紙をはさむ板を監督員に提出し、承認を得る 右記範囲内の機の亜鉛板、配管(亜鉛めっきされたもの)、吊り手(はさみなし)とする																																																																																																	
18 配管接続部の非燃焼検査		・ 漫透探傷検査(PT)又は磁粉探傷検査(MT) ・ 放射線透過検査(RT) (2.2.5.16.12)																																																																																																	
19 ステンレス鋼管施工上の注意		(1) コンクリート壁・床への埋込み、スリーブ貫通部及びその他機器との絶縁箇所には、プラスチックテープを 1/2重ね1回巻きを施すこと (2) 保溫のアミ、ネット、巻き線、菊座等が直接接触しないよう施工すること (3) 地中埋設部は、管を土壤に接触させないように施工すること (4) 地中埋設から地上あるいは壁等に至る管には、出た直近に絶縁フランジを設けること (5) ステンレス管に使用する60A以上の時はステンレス弁とすること (2.2.5.6)																																																																																																	
20 鋼質通		構造上主要な壁を貫通する場合は、次の鉄筋探査を行う。 レンゲン撮影 ? 金属探知機																																																																																																	
○ 21 あと施工アンカー		○ あと施工アンカーは施工前に計画書を作成すること ○ 施工者資格 (○ 第1種あと施工アンカー施工士 ・ 第2種あと施工アンカー施工士) ※ 試験 ※ 自主検査 (全数) ○ 加力検査 (○ 非破壊試験 1 か所) ・ 破壊試験 か所)																																																																																																	
22 機器取付け高さ		※ スイッチ類 一般 床上～中心 約1100mm ・ 屋外 床上～中心 約1500mm																																																																																																	
23 砂利地業及び舗装		※ 砂利地業については再生材を利用すること。また、アスファルト舗装については再生粒度アスファルト混合物を使用すること。																																																																																																	
○ 1 溫湿度調整目標		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">外気条件</th> <th colspan="6">室 内 (調節目標値)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">一般系統</th> <th>温 度</th> <th>湿 度</th> <th>温 度</th> <th>湿 度</th> <th>温 度</th> <th>湿 度</th> </tr> <tr> <th>(DB)</th> <th>(RH)</th> <th>(DB)</th> <th>(RH)</th> <th>(DB)</th> <th>(RH)</th> <th>(DB)</th> <th>(RH)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏 季</td> <td>36°C</td> <td>53%</td> <td>26°C</td> <td>50%</td> <td>°C</td> <td>%</td> <td>°C</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>冬 季</td> <td>0°C</td> <td>59%</td> <td>22°C</td> <td>40%</td> <td>°C</td> <td>%</td> <td>°C</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>	外気条件		室 内 (調節目標値)						一般系統		温 度	湿 度	温 度	湿 度	温 度	湿 度	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	夏 季	36°C	53%	26°C	50%	°C	%	°C	%	冬 季	0°C	59%	22°C	40%	°C	%	°C	%																																																							
外気条件		室 内 (調節目標値)																																																																																																	
一般系統		温 度	湿 度	温 度	湿 度	温 度	湿 度																																																																																												
(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)																																																																																												
夏 季	36°C	53%	26°C	50%	°C	%	°C	%																																																																																											
冬 季	0°C	59%	22°C	40%	°C	%	°C	%																																																																																											
○ 2 冷暖房の能力		空気熱源ヒートポンプユニット及びパッケージ形空気調和機の温湿度条件はJIS条件による																																																																																																	
○ 3 成績係数		※ 機器表による。ただし、各メーカーのトップランナーを採用すること。																																																																																																	
4 はいりん量測定口		・ はいりん量測定口 (3.1.1.10)																																																																																																	
5 はいじん量測定口		・ はいじん量測定口 (3.1.1.9)																																																																																																	
6 煙道		・ 乾燥製 (・ 3.2mm ・ 4.5mm) (・ 屋内 ・ 屋外) (3.1.1.9) ・ ステンレス鋼板製 () mm (・ 屋内 ・ 屋外)																																																																																																	
7 ダクト工法		低圧ダクト ・ コーナーボルト (・ 共板フランジ ・ スライドオンフランジ) 工法 ・ アングルフランジ工法 (3.2.2.1)																																																																																																	
8 風速測定口		下記の箇所に測定口を取り付けること ・ 図示した位置 ・ 送風機出口側ダクト又は吸込側ダクト ・ 外気吸入ダクト ・ 空調機出口チャンバーの分歧ダクト (3.2.2.7)																																																																																																	
機 械 設 備 工 事 特 記 仕 様 書		公 立 大 学 法 人 熊 本 県 立 大 学	<table border="1"> <tr> <td>建 築 士 事 務 所 名</td> <td>建 築 士 事 務 所 熊 本 県 知 事 登 録 1805 号</td> </tr> <tr> <td>株式会社 本田設計コンサルタント</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設 計 者 氏 名</td> <td>建 築 士 登 録 第 349038 号</td> </tr> <tr> <td></td> <td>印</td> </tr> </table>	建 築 士 事 務 所 名	建 築 士 事 務 所 熊 本 県 知 事 登 録 1805 号	株式会社 本田設計コンサルタント		設 計 者 氏 名	建 築 士 登 録 第 349038 号		印	工 事 名 称	熊本県立大学講義棟2号館その他空調設備(AHU等)改修工事																																																																																						
建 築 士 事 務 所 名	建 築 士 事 務 所 熊 本 県 知 事 登 録 1805 号																																																																																																		
株式会社 本田設計コンサルタント																																																																																																			
設 計 者 氏 名	建 築 士 登 録 第 349038 号																																																																																																		
	印																																																																																																		
機 械 設 備 工 事 特 記 仕 様 書		公 立 大 学 法 人 熊 本 県 立 大 学	<table border="1"> <tr> <td>建 築 士 事 務 所 名</td> <td>建 築 士 事 務 所 熊 本 県 知 事 登 録 1805 号</td> </tr> <tr> <td>株式会社 本田設計コンサルタント</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設 計 者 氏 名</td> <td>建 築 士 登 録 第 349038 号</td> </tr> <tr> <td></td> <td>印</td> </tr> </table>	建 築 士 事 務 所 名	建 築 士 事 務 所 熊 本 県 知 事 登 録 1805 号	株式会社 本田設計コンサルタント		設 計 者 氏 名	建 築 士 登 録 第 349038 号		印	工 事 名 称	熊本県立大学講義棟2号館その他空調設備(AHU等)改修工事																																																																																						
建 築 士 事 務 所 名	建 築 士 事 務 所 熊 本 県 知 事 登 録 1805 号																																																																																																		
株式会社 本田設計コンサルタント																																																																																																			
設 計 者 氏 名	建 築 士 登 録 第 349038 号																																																																																																		
	印																																																																																																		
機 械 設 備 工 事 特 記 仕 様 書		公 立 大 学 法 人 熊 本 県 立 大 学	<table border="1"> <tr> <td>建 築 士 事 務 所 名</td> <td>建 築 士 事 務 所 熊 本 県 知 事 登 録 1805 号</td> </tr> <tr> <td>株式会社 本田設計コンサルタント</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設 計 者 氏 名</td> <td>建 築 士 登 録 第 349038 号</td> </tr> <tr> <td></td> <td>印</td> </tr> </table>	建 築 士 事 務 所 名	建 築 士 事 務 所 熊 本 県 知 事 登 録 1805 号	株式会社 本田設計コンサルタント		設 計 者 氏 名	建 築 士 登 録 第 349038 号		印	工 事 名 称	機 械 設 備 工 事 特 記 仕 様 書 (そ の 2)																																																																																						
建 築 士 事 務 所 名	建 築 士 事 務 所 熊 本 県 知 事 登 録 1805 号																																																																																																		
株式会社 本田設計コンサルタント																																																																																																			
設 計 者 氏 名	建 築 士 登 録 第 349038 号																																																																																																		
	印																																																																																																		
機 械 設 備 工 事 特 記 仕 様 書		公 立 大 学 法 人 熊 本 県 立 大 学	<table border="1"> <tr> <td>建 築 士 事 務 所 名</td> <td>建 築 士 事 務 所 熊 本 県 知 事 登 録 1805 号</td> </tr> <tr> <td>株式会社 本田設計コンサルタント</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設 計 者 氏 名</td> <td>建 築 士 登 録 第 349038 号</td> </tr> <tr> <td></td> <td>印</td> </tr> </table>	建 築 士 事 務 所 名	建 築 士 事 務 所 熊 本 県 知 事 登 録 1805 号	株式会社 本田設計コンサルタント		設 計 者 氏 名	建 築 士 登 録 第 349038 号		印	工 事 名 称	機 械 設 備 工 事 特 記 仕 様 書 (そ の 2)																																																																																						
建 築 士 事 務 所 名	建 築 士 事 務 所 熊 本 県 知 事 登 録 1805 号																																																																																																		
株式会社 本田設計コンサルタント																																																																																																			
設 計 者 氏 名	建 築 士 登 録 第 349038 号																																																																																																		
	印																																																																																																		
機 械 設 備 工 事 特 記 仕 様 書		公 立 大 学 法 人 熊 本 県 立 大 学	<table border="1"> <tr> <td>建 築 士 事 務 所 名</td> <td>建 築 士 事 務 所 熊 本 県 知 事 登 録 1805 号</td> </tr> <tr> <td>株式会社 本田設計コンサルタント</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設 計 者 氏 名</td> <td>建 築 士 登 録 第 349038 号</td> </tr> <tr> <td></td> <td>印</td> </tr> </table>	建 築 士 事 務 所 名	建 築 士 事 務 所 熊 本 県 知 事 登 録 1805 号	株式会社 本田設計コンサルタント		設 計 者 氏 名	建 築 士 登 録 第 349038 号		印	工 事 名 称	機 械 設 備 工 事 特 記 仕 様 書 (そ の 2)																																																																																						
建 築 士 事 務 所 名	建 築 士 事 務 所 熊 本 県 知 事 登 録 1805 号																																																																																																		
株式会社 本田設計コンサルタント																																																																																																			
設 計 者 氏 名	建 築 士 登 録 第 349038 号																																																																																																		
	印																																																																																																		

機械設備工事特記仕様

公立大学法人 熊本県立大学



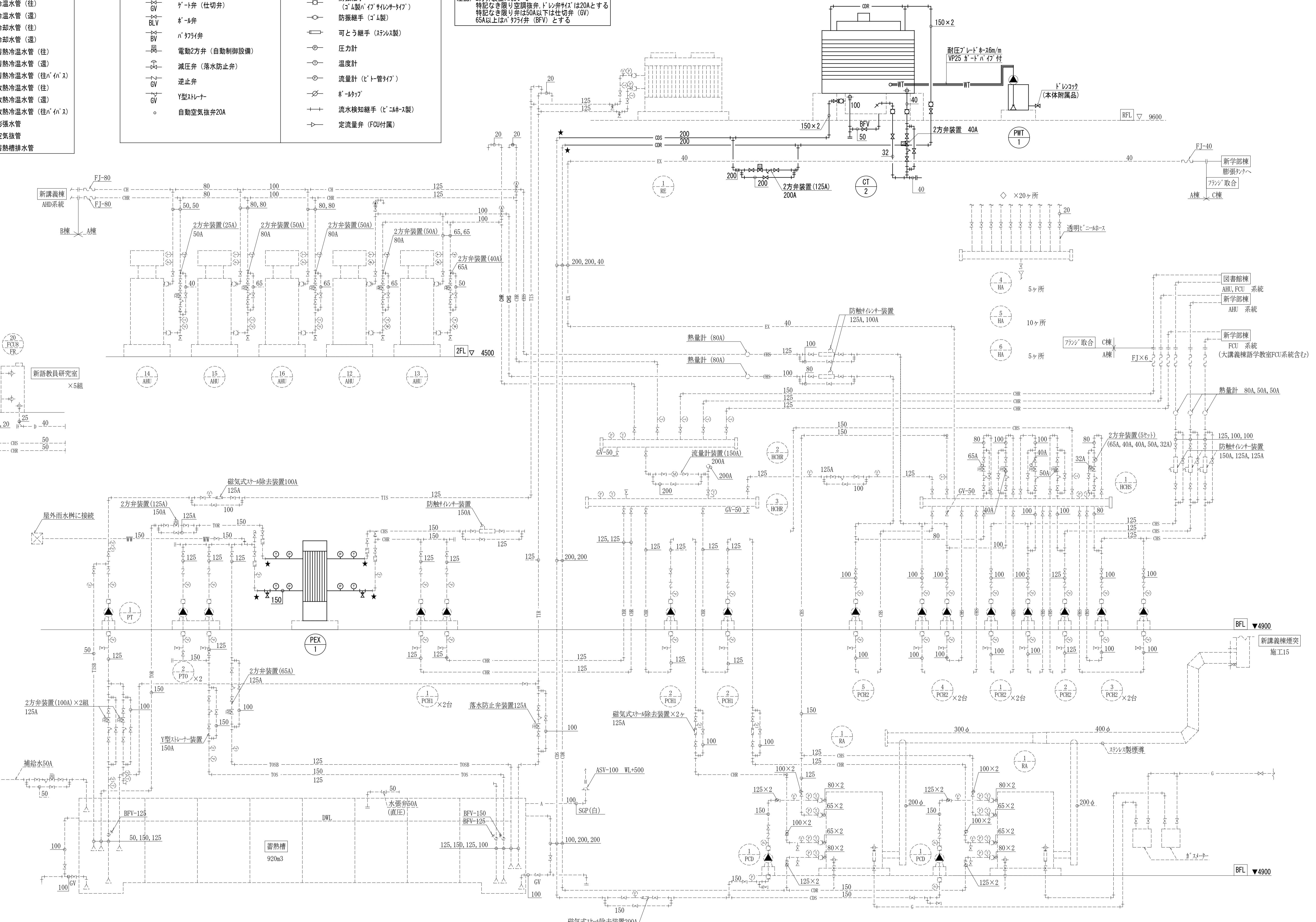
(新設) 空気調和設備 機器一覧表										
番号 記号	名称	仕様					電源(入力)		台数	備考
		1φ100V	1φ200V	3φ200V						
AHU 17	空気調和機 (全熱交換器組込型) 小会議室、 LL教室系統	(空調器) 床置横型エアハンドリングユニット 送風機定速運転方式 冷房能力 81.4kW 外気条件 DB 33°C WB 27.5°C 吸込空気条件 DB 27.3°CWB 20.5°C 室内空気条件 DB 26°C WB 18.6°C 暖房能力 67.5kW 外気条件 DB -1°C WB -3°C 吸込空気条件 DB 18.0°CWB 11.6°C 室内空気条件 DB 22°C WB 14°C 冷水入口 7°C 冷水出口 12°C 温水入口 48°C 温水出口 43°C 冷温水量 233L/min 処理風量 13,000m³/h コイル面風速 3.0m/sec以下 給気送風機 機外静圧 392.0Pa 7.5kw×1台 還気送風機 機外静圧 138.0Pa 5.5kw×1台 (全熱交換器) 回転式 全熱交換効率 50%以上 処理風量 4,650m³/h ローター面風速 3.0m/sec以下 ローター電動機 0.1kw 回転制御方式 (フィルター) プレフィルター 再生式パネル型 重量法 80% 中性能フィルター 非再生式折込型 変色法 60% バイパスダンパ 風量調整ダンパ 点検口 スプリング式防振架台共 気化式加湿器 有効加湿量 12.5kg/H				120w	7.5kw 5.5kw (出力) 0.1kw (出力)	1台	コイル面風速等 特記以外は 国土交通省仕様とする	
AHU 18	空気調和機 (全熱交換器組込型) 小会議室4, 5, 6, 7系統	(空調器) 床置横型エアハンドリングユニット 送風機定速運転方式 冷房能力 90.7kW 外気条件 DB 33°C WB 27.5°C 吸込空気条件 DB 26.7°CWB 19.6°C 室内空気条件 DB 26°C WB 18.6°C 暖房能力 67.5kW 外気条件 DB -1°C WB -3°C 吸込空気条件 DB 20.0°CWB 12.8°C 室内空気条件 DB 22°C WB 14°C 冷水入口 7°C 冷水出口 12°C 温水入口 48°C 温水出口 43°C 冷温水量 260L/min 処理風量 17,000m³/h コイル面風速 3.0m/sec以下 給気送風機 機外静圧 265.0Pa 11.0kw×1台 還気送風機 機外静圧 196.0Pa 7.5kw×1台 (全熱交換器) 回転式 全熱交換効率 50%以上 処理風量 3,630m³/h ローター面風速 3.0m/sec以下 ローター電動機 0.1kw 回転制御方式 (フィルター) プレフィルター 再生式パネル型 重量法 80% 中性能フィルター 非再生式折込型 変色法 60% バイパスダンパ 風量調整ダンパ 点検口 スプリング式防振架台共 気化式加湿器 有効加湿量 8.2kg/H				120w	11.0kw 7.5kw (出力) 0.1kw (出力)	1台	コイル面風速等 特記以外は 国土交通省仕様とする	
CT 2	冷却塔	二重効用吸収式冷温水発生機用 超低騒音型 内部配管型 冷却能力 1,340kW 冷却水量 3,200L/min 冷却水入口 38°C 冷却水出口 32°C 外気 WB 27°C 3.7kw × 2台					5.0kw	1台		
PEX 1	熱交換器	プレート式 プレート材質 SUS304 フレーム材質 鋳鉄製 (冷房時) 熱交換能力 780,000kcal/h 冷水量 2,600L/min 1次冷水入口 5°C 1次冷水出口 10°C 2次冷水入口 12°C 2次冷水出口 7°C (暖房時) 熱交換能力 480,000kcal/h 温水量 1,600L/min 1次温水入口 50°C 1次温水出口 45°C 圧力損失 5.0mAq以下 2次温水入口 43°C 2次温水出口 48°C 圧力損失 1.8mAq以下 最高使用圧力 1次側 4.0kg/cm²G 2次側 4.0kg/cm²G 設計圧力 1次側 10.0kg/cm²G 2次側 10.0kg/cm²G						1台		
PWT 1	薬注ポンプ装置	流量比例運転タイプ 屋外設置カバー付 吐出量 38 L/min 吐出圧力 1.0MPa 冷却水量 3,200L/min 薬液タンク(100L)、レベルスイッチ(フロートスイッチ式)、薬注ポンプ共				20w (出力)		1台		

(既設)空気調和設備 機器一覧表(撤去)													
番号記号	名称	仕様								台数			
AHU 17	空気調和機 (全熱交換器組込型) 小会議室、 LL教室系統	AH-22DELK	製造番号	6930665	製造年月	1993 - 10		全熱交換器		1台			
		給氣用 送風機	型式	#3 LLD × 1 連	冷却	入口空氣溫度	27.3 DB°C	20.5 WB°C	HI-PANEX RHEAT EXCHANGER				
			風量	13000 m³/h		出口空氣溫度	15 DB°C	14.5 WB°C	Model				
			機外静圧	40 mmH₂O		能力	70000 kcal/h		PAC-1200T				
			軸受	EWP310 EWP208		冷水入口溫度	7 °C		capacity				
		電動機	回転数	1870 r.p.m		冷水水量	233 L/min		Elec. connection				
			電源	3 相 200 V		冷水損失水頭	2.1 mH₂O		200V 3φ 60Hz				
			出力	11 kW × 14 極		加熱	Elec. consumption		Motor 0.2 kW				
			製造者	日立製作所			No.		93055				
		還排氣用 送風機	型式	#47H × 1 連			Date		H5. 9 Weight 245kg				
			風量	13000 m³/h			SEIBU GIKEN						
			機外静圧	40 mmH₂O									
			軸受	UKP210 UCP209									
		電動機	回転数	990 r.p.m									
			電源	3 相 200 V									
			出力	5.5 kW × 14 極									
			製造者	日立製作所									
AHU 18	空気調和機 (全熱交換器組込型) 小会議室4, 5, 6, 7系統	AH-33DELK	製造番号	6930666	製造年月	1993 - 10		全熱交換器		1台			
		給氣用 送風機	型式	#3 1/2 LLD × 1 連	冷却	入口空氣溫度	26.7 DB°C	19.6 WB°C	HI-PANEX RHEAT EXCHANGER				
			風量	17000 m³/h		出口空氣溫度	16.1 DB°C	14.4 WB°C	Model				
			機外静圧	40 mmH₂O		能力	78000 kcal/h		PAC-1100T				
			軸受	EWP310 EWP208		冷水入口溫度	7 °C		capacity				
		電動機	回転数	1650 r.p.m		冷水水量	260 L/min		Elec. connection				
			電源	3 相 200 V		冷水損失水頭	0.7 mH₂O		200V 3φ 60Hz				
			出力	11 kW × 14 極		加熱	Elec. consumption		Motor 0.1 kW				
			製造者	日立製作所			No.		93056				
		還排氣用 送風機	型式	#54K × 1 連			Date		H5. 9 Weight 220kg				
			風量	17000 m³/h			SEIBU GIKEN						
			機外静圧	40 mmH₂O									
			軸受	UKP212 UCP210									
		電動機	回転数	850 r.p.m									
			電源	3 相 200 V									
			出力	7.5 kW × 14 極									
			製造者	日立製作所									
番号記号	名称	仕様						電源(入力)		台数	備考		
CT 2	冷却塔	二重効用吸式冷温水発生機用 超低騒音角形 冷却能力 1,160,000kcal/h 冷却水量 3,200L/min 壓力損失 2.0mAq以下 冷却水入口 38°C 冷却水出口 32°C 外気 WB 27°C 2.2kW × 2台						1φ100V	1φ200V	3φ200V			
PEX 1	熱交換器	プレート式 プレート材質 SUS304 (冷房時) 熱交換能力 780,000kcal/h 1次冷水入口 5°C 1次冷水出口 10°C 2次冷水入口 12°C 2次冷水出口 7°C (暖房時) 熱交換能力 480,000kcal/h 温水量 1,600L/min 1次温水入口 50°C 1次温水出口 45°C 壓力損失 5.0mAq以下 2次温水入口 43°C 2次温水出口 48°C 壓力損失 1.8mAq以下 最高使用圧力 1次側 4.0kg/cm²G 2次側 4.0kg/cm²G 設計圧力 1次側 10.0kg/cm²G 2次側 10.0kg/cm²G								型式 : M15-BFM8(アルファラバル)			
PWT 1	薬注ポンプ装置	吐出量可変制御ユニットタイプ 屋外設置カバー付 吐出量 20~110 cc/min 吐出圧力 10kg/cm²G 冷却水量 3,200L/min 壓力損失 2.0mAq以下 減液警報用フロー共						30W (出力)	型式 : M15-BFM8(アルファラバル)				

凡例	
— CHS —	冷温水管 (往)
— CHR —	冷温水管 (還)
— CDS —	冷却水管 (往)
— CDR —	冷却水管 (還)
— TIS —	蓄熱冷温水管 (往)
— TIR —	蓄熱冷温水管 (還)
— TISB —	蓄熱冷温水管 (往バハ入)
— TOS —	放熱冷温水管 (往)
— TOR —	放熱冷温水管 (還)
— TOSB —	放熱冷温水管 (往バハ入)
— EX —	膨張水管
— A —	空気抜管
— WW —	蓄熱槽排水管

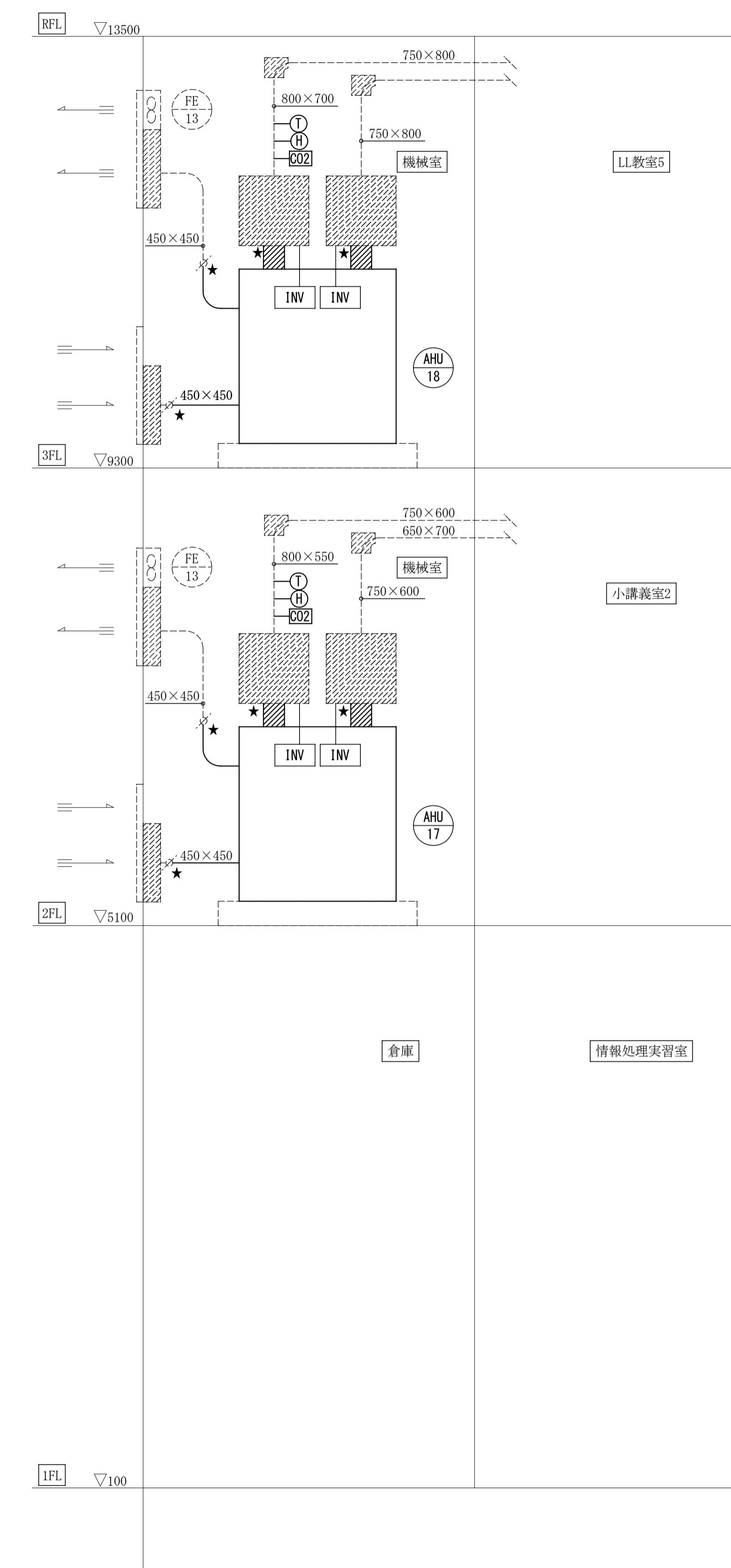
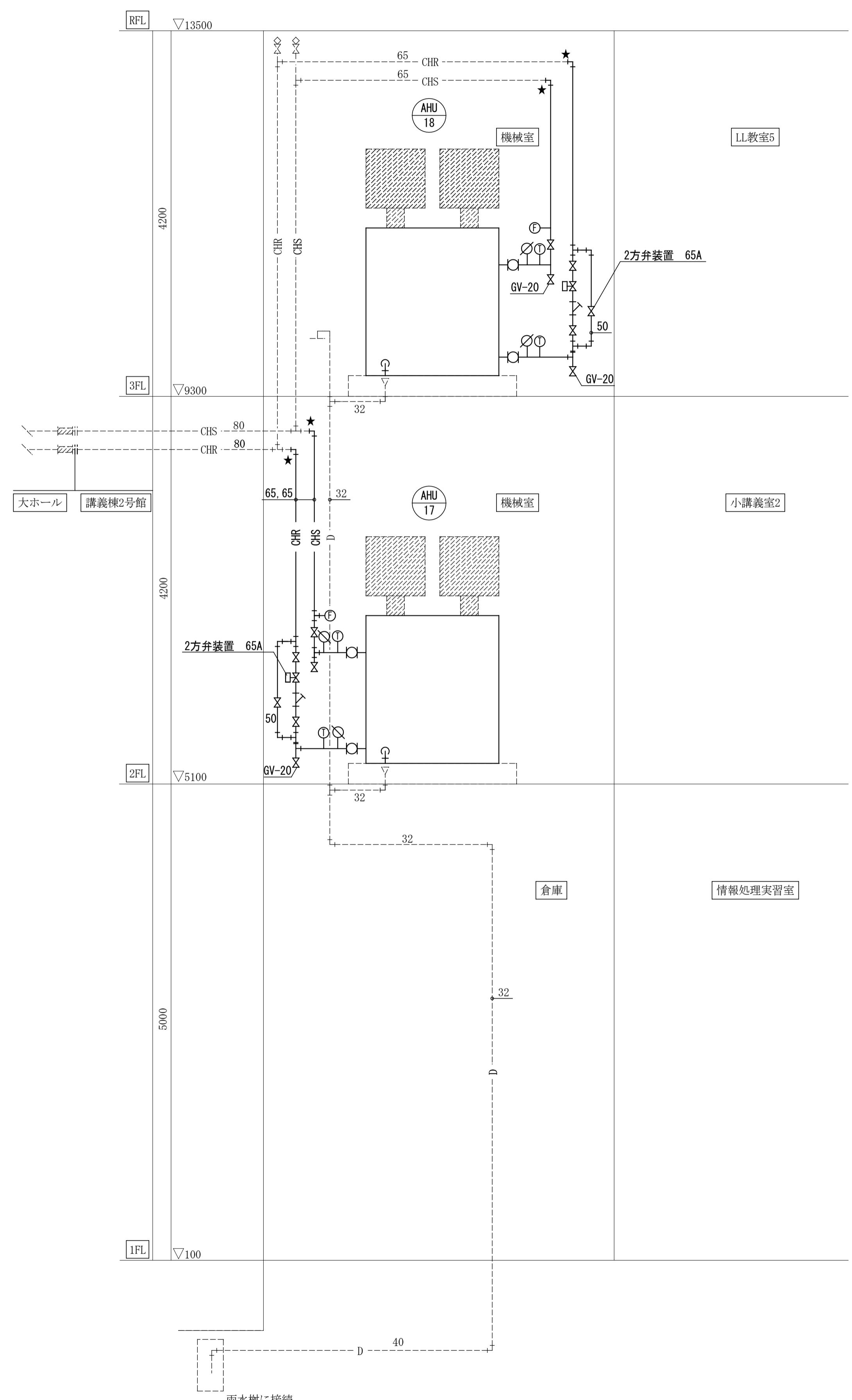
凡 例		
→→ GV	ゲート弁（仕切弁）	→○ 防振継手 (ゴム製) ^{ハフサインサータイフ}
→→ BLV	ボル弁	→○ 防振継手 (ゴム製)
→→ BV	バタライ弁	→□ 可とう継手 (ステンレス製)
→■ 	電動2方弁 (自動制御設備)	→⊕ 圧力計
↑→ 	減圧弁 (落水防止弁)	→① 温度計
→→ GV	逆止弁	→⑤ 流量計 (ビト管タイフ)
→→ GV	Y型ストレーナ	→∅ ボルタップ
○	自動空気抜弁20A	→++ 流水検知継手 (ビニルホース製)
		→△ 定流量弁 (FCU付属)

注記) 2方弁装置において
特記なき限り空調抜弁, ドレン弁サイズは20Aとす
特記なき限り弁は50A以下は仕切弁 (GV)
65A以上はバタフライ弁 (BFV) とする



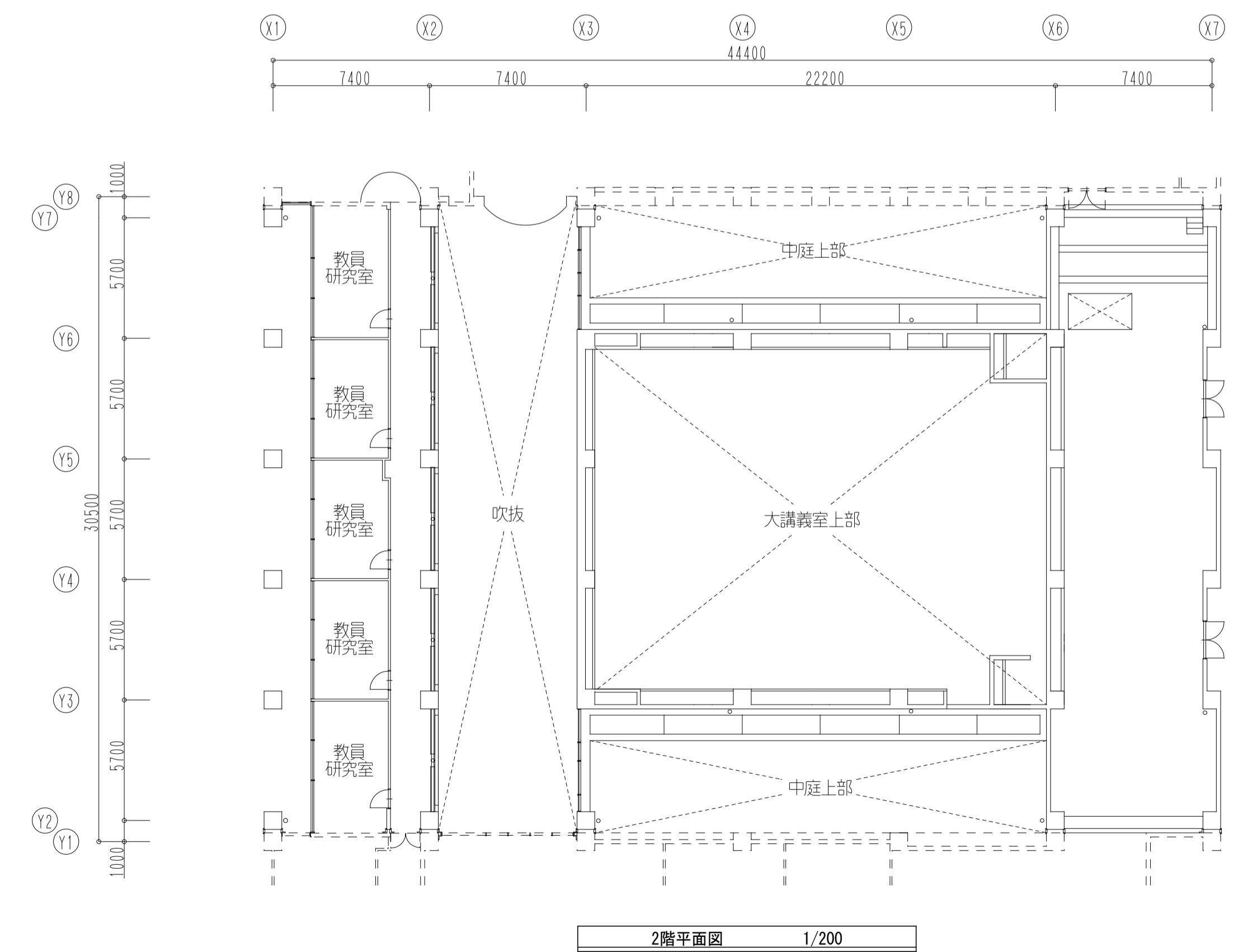
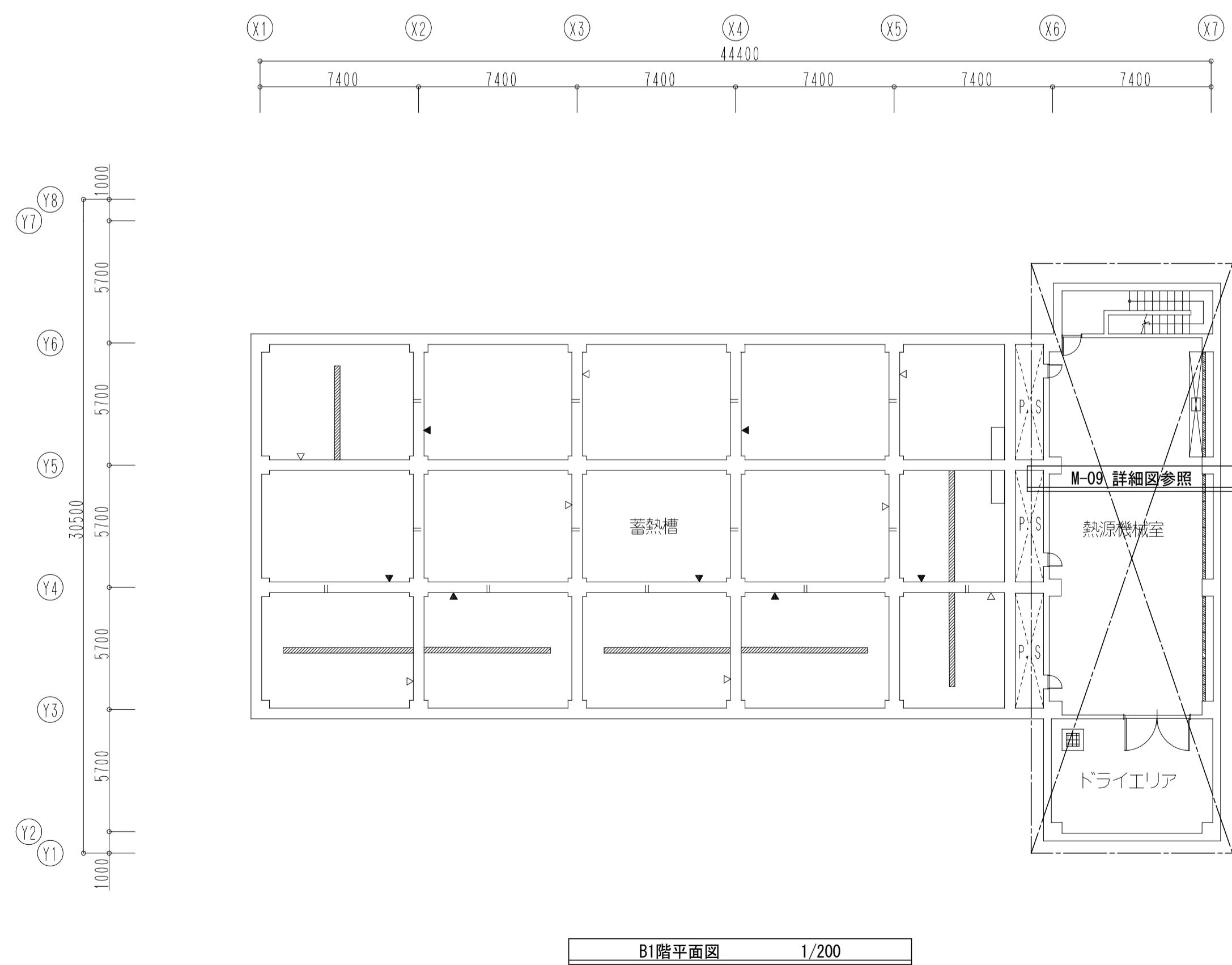
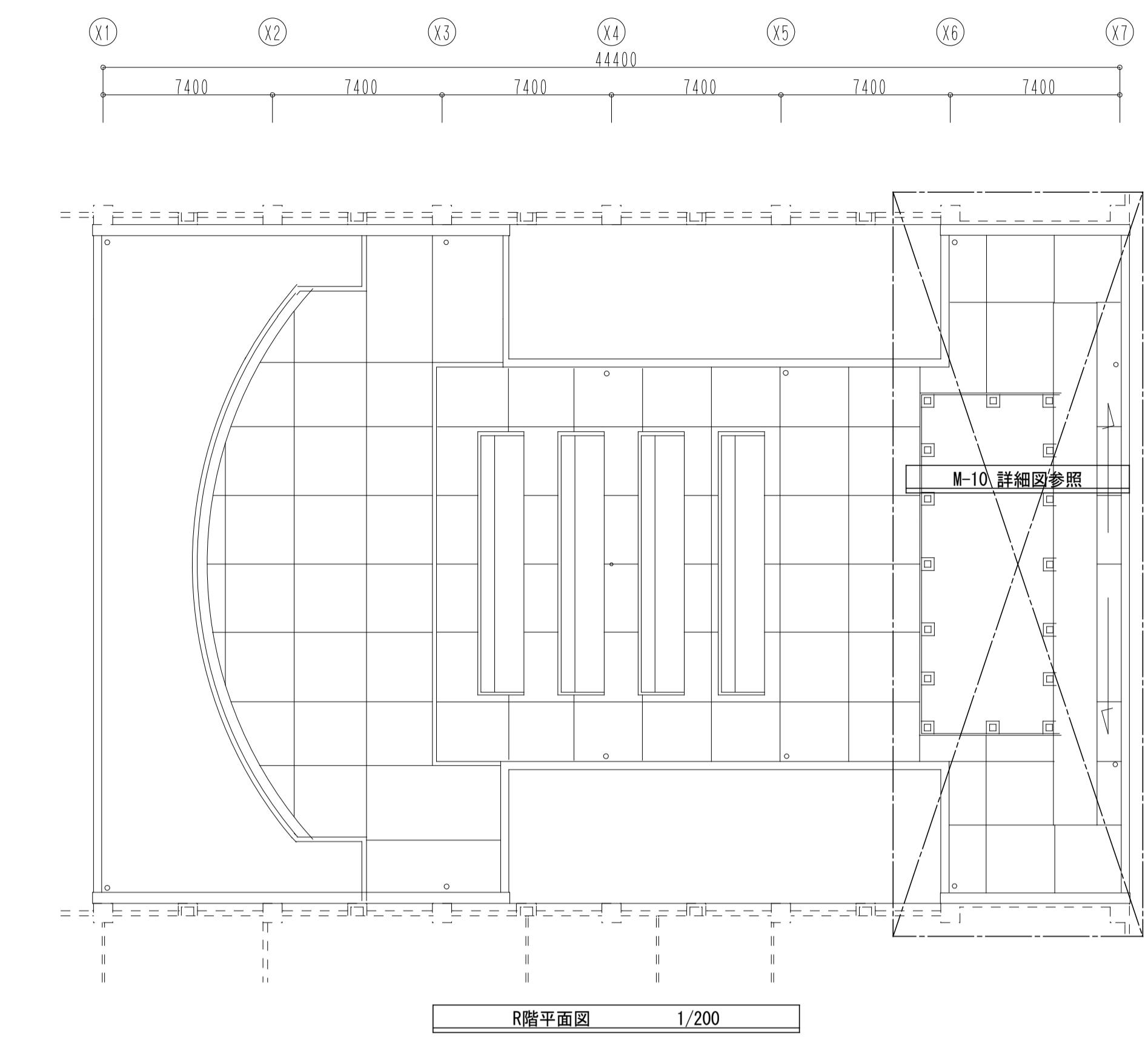
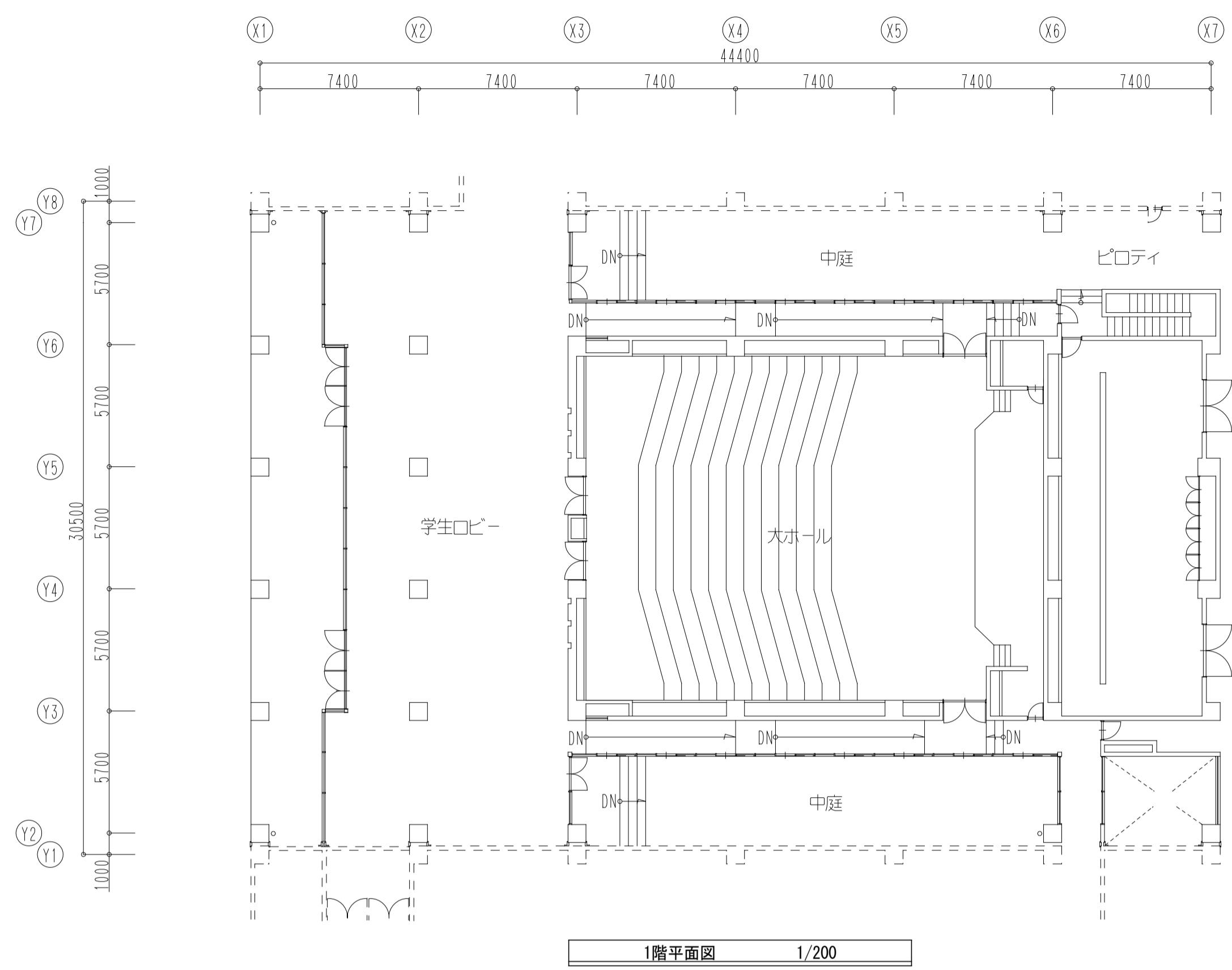
※冷温水配管、冷却水配管系統のゲート弁はJIS-5Kを使用し、給水配管系統のゲート弁はJIS-10Kを使用する。又、冷温水配管の冷温水出入口に圧力計、温度計を各1個、計2個づつ取り付けること。
★印は既設配管切断接続箇所を示す。
■線部分は撤去及び新設を示し、細破線部分は既設を示す。

本実績部分は版画及び新設を示し、縮尺欄部分は既設を示す。									
工事名称 改修工事	熊本県立大学大講義棟2号館その他空調設備（AHU等）	株式会社 本田設計コンサルタント TEL 096-380-3633 FAX 096-380-3613	熊本市東区戸島1丁目13番58号 一級建築士 本田直也 第349038号	熊本県知事登録 第1805号 A1=NO SCALE A3=NO SCALE	縮尺 日付 2022.6	図面名称 空気調和設備(配管) 系統図(改修後・改修前) (大ホール)	番号 M-05	印	

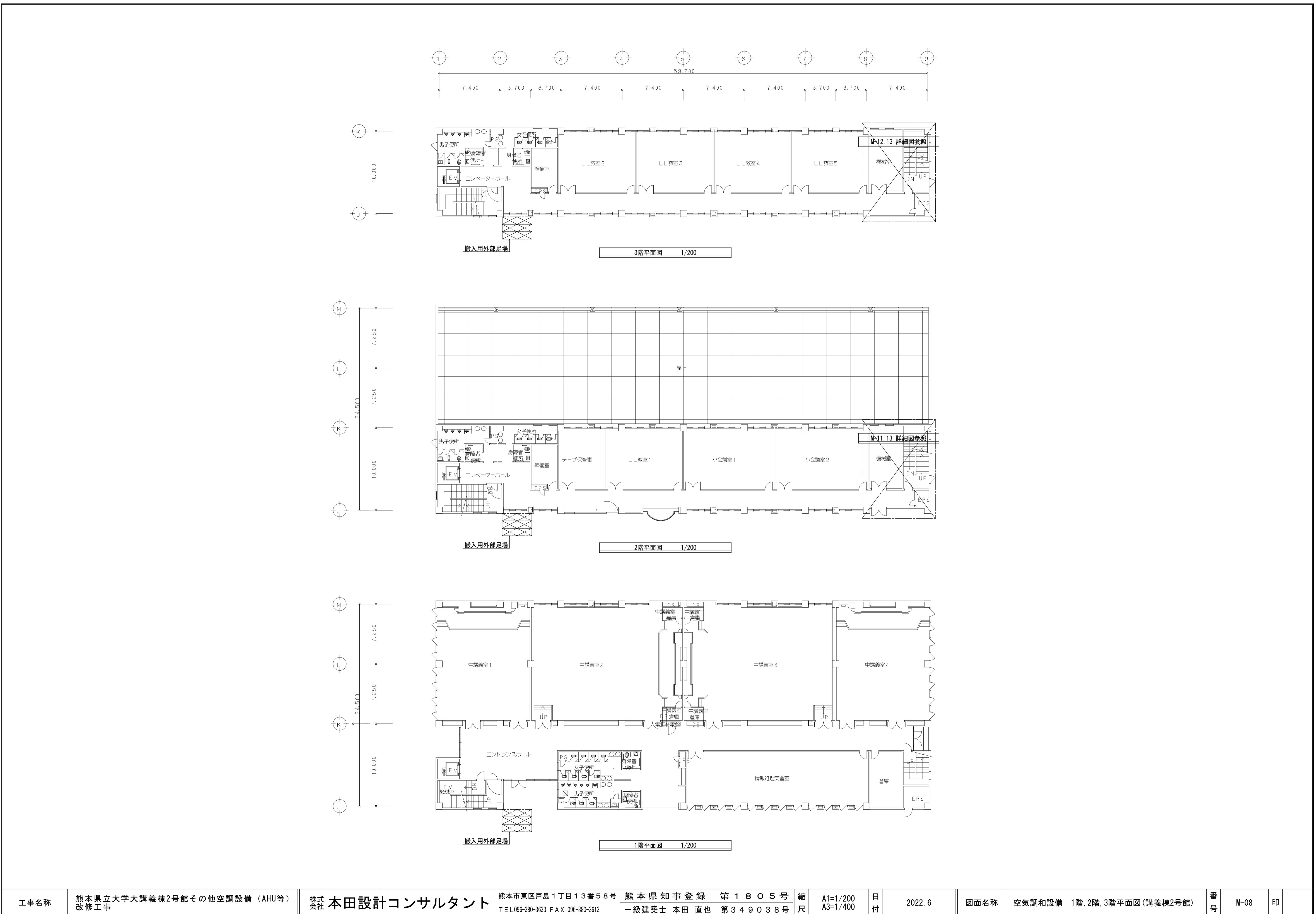


※冷温水配管、冷却水配管系統のゲート弁はJIS-5Kを使用し、給水配管系統のゲート弁はJIS-10Kを使用する。又、冷温水配管の冷温水出入口に圧力計、温度計を各1個、計2個づつ取り付けること。
※★印は既設配管切断接続箇所を示す。
※実線部分は撤去及び新設を示し、細破線部分は既設を示す。

工事名称	熊本県立大学大講義棟2号館その他空調設備(AHU等) 改修工事	株式会社 本田設計コンサルタント	熊本市東区戸島1丁目13番58号 TEL 096-363-3633 FAX 096-363-3613	熊本県知事登録 第1805号 一級建築士 本田直也 第349038号	縮尺 A1=NO SCALE A3=NO SCALE	日付 2022.6	図面名称 空気調和設備(配管・ダクト) 系統図 (改修後・改修前)(講義棟2号館)	番号 M-06	印
------	------------------------------------	------------------	---	---------------------------------------	-------------------------------	-----------	--	---------	---

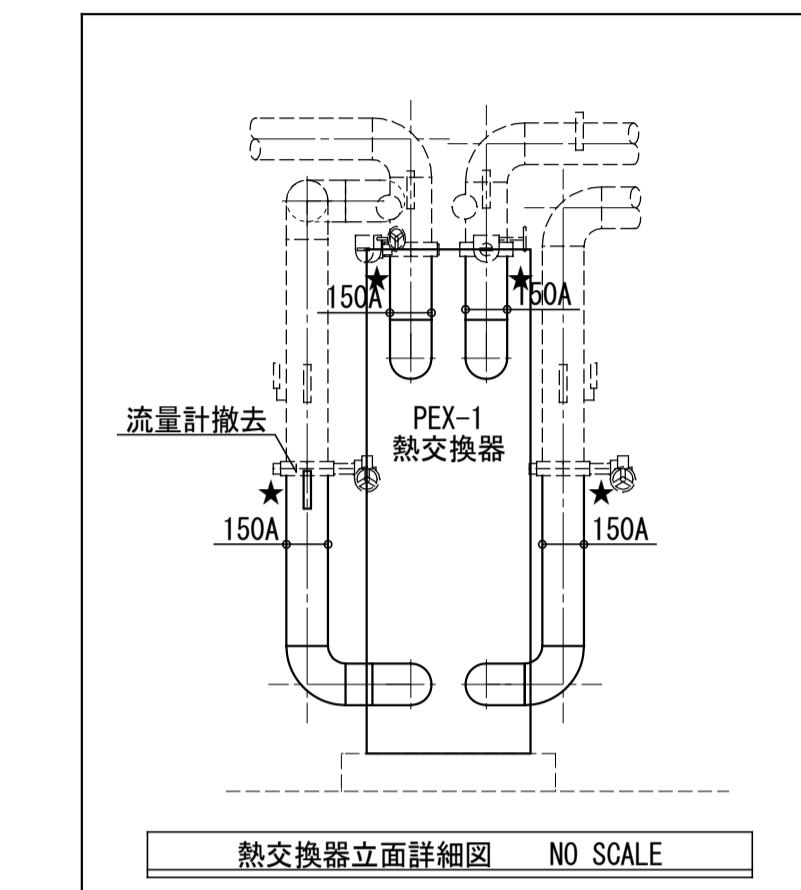
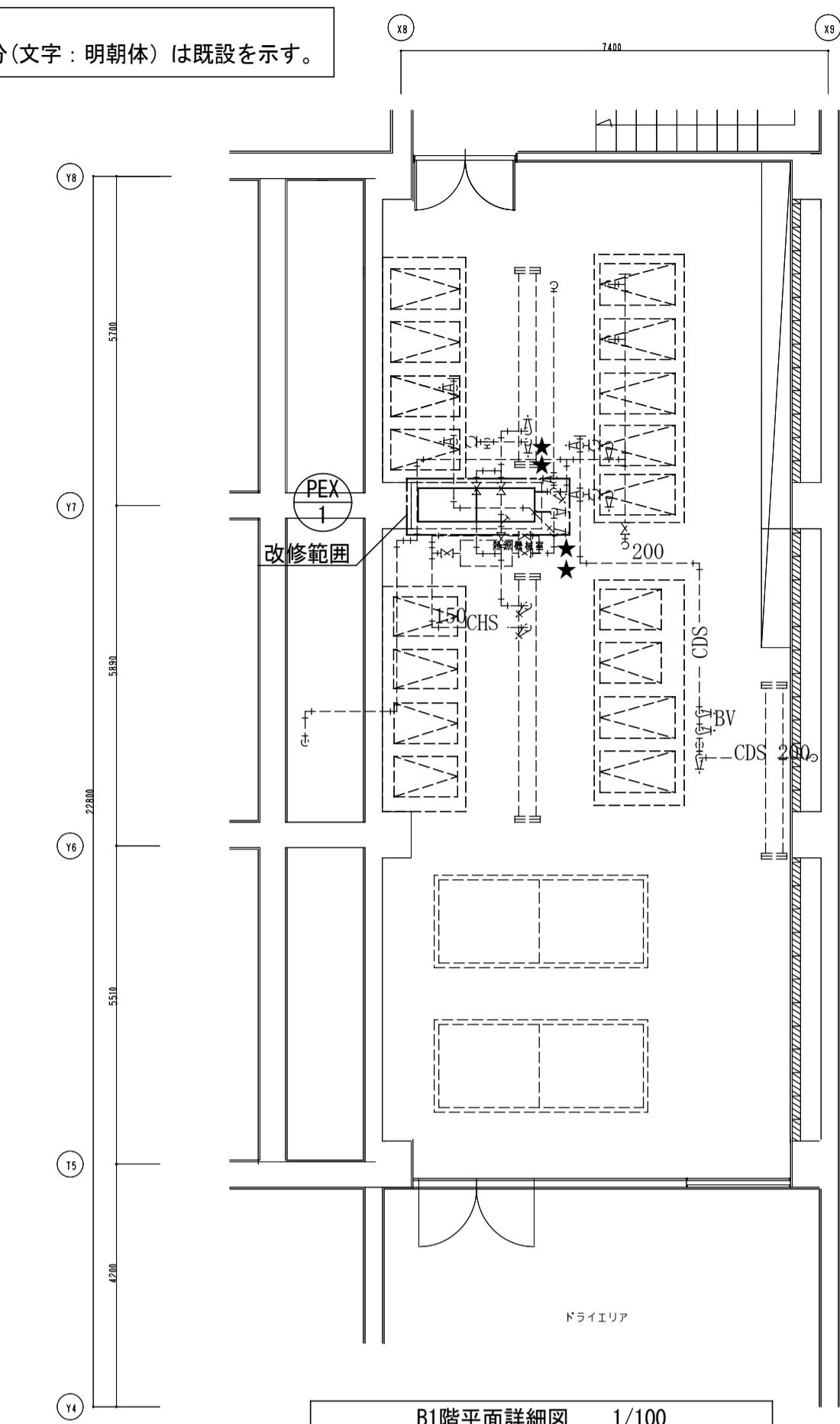
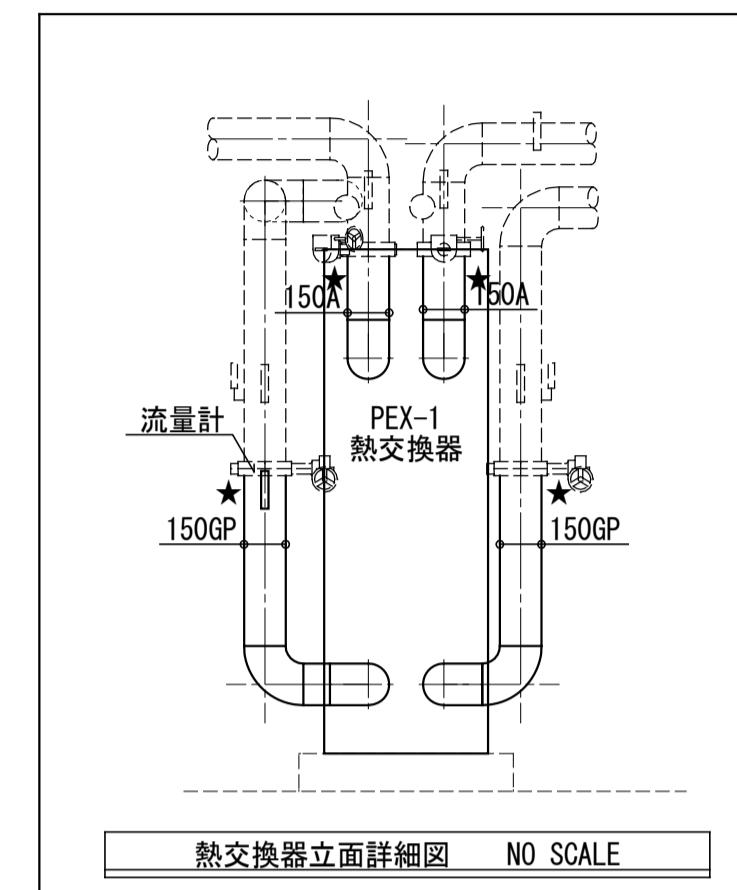
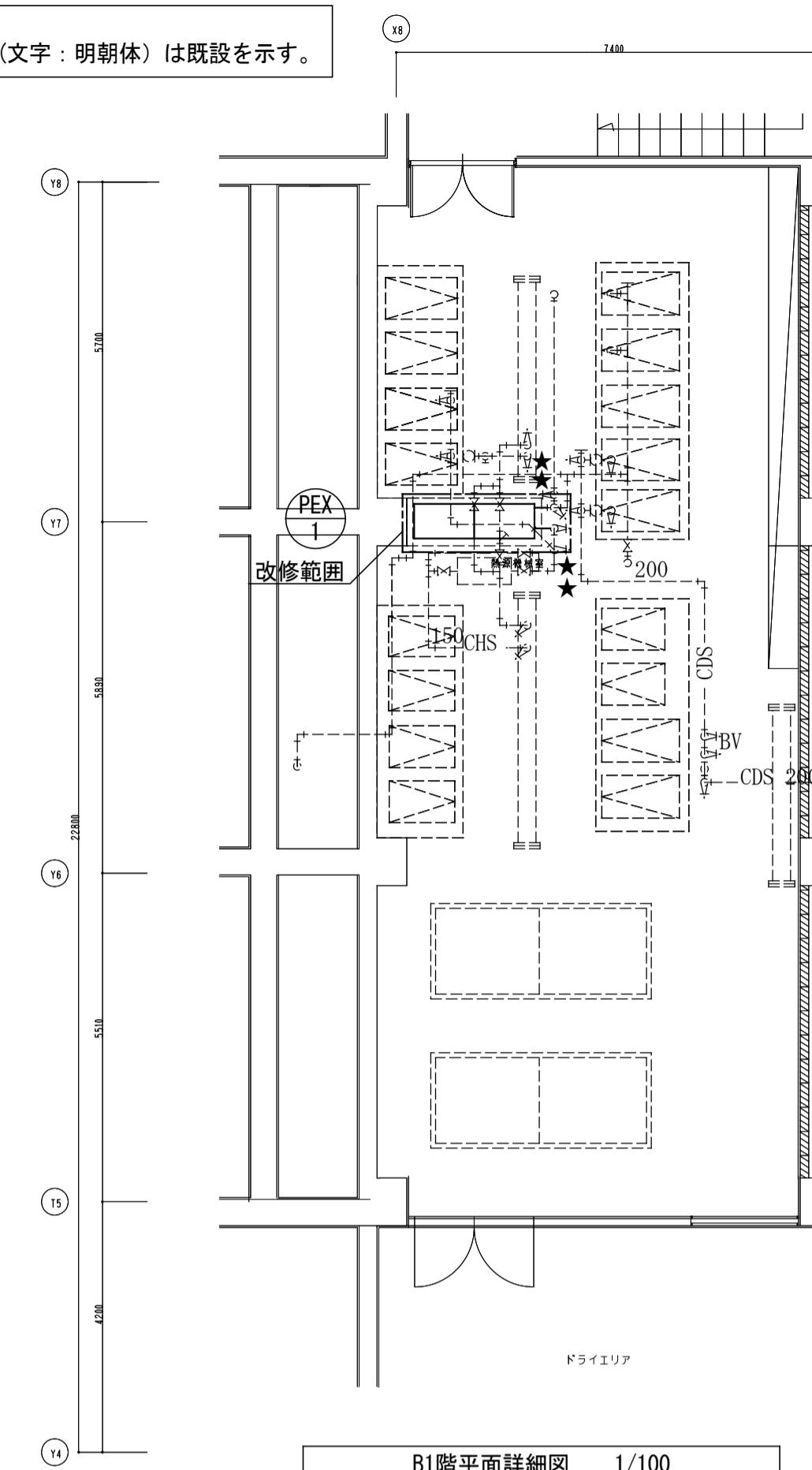


工事名称	熊本県立大学大講義棟2号館その他空調設備（AHU等）改修工事	株式会社 本田設計コンサルタント	熊本市東区戸島1丁目13番58号 TEL 096-380-3633 FAX 096-380-3613	熊本県知事登録 第1805号 一級建築士 本田直也 第349038号	縮尺 A1=1/200 A3=1/400	日付 2022.6	図面名称 空気調和設備 B1階, 1階, 2階, R階平面図 (大ホール)	番号 M-07	印
------	--------------------------------	------------------	---	---------------------------------------	----------------------------	--------------	---	------------	---



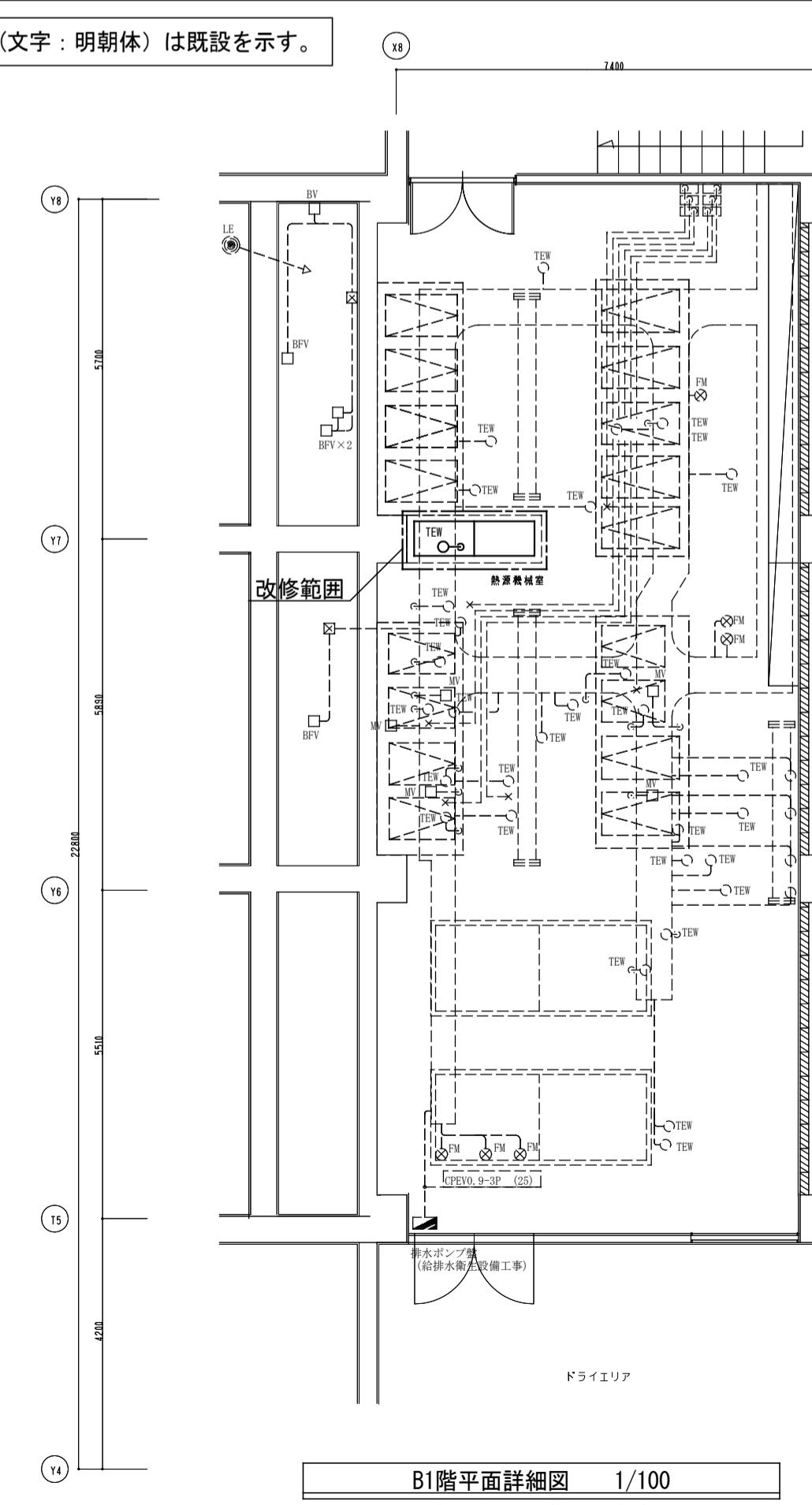
配管設備

※★印は既設配管接続箇所を示す。
※実線部分(文字:ゴシック体)は新設を示し、細破線部分(文字:明朝体)は既設を示す。



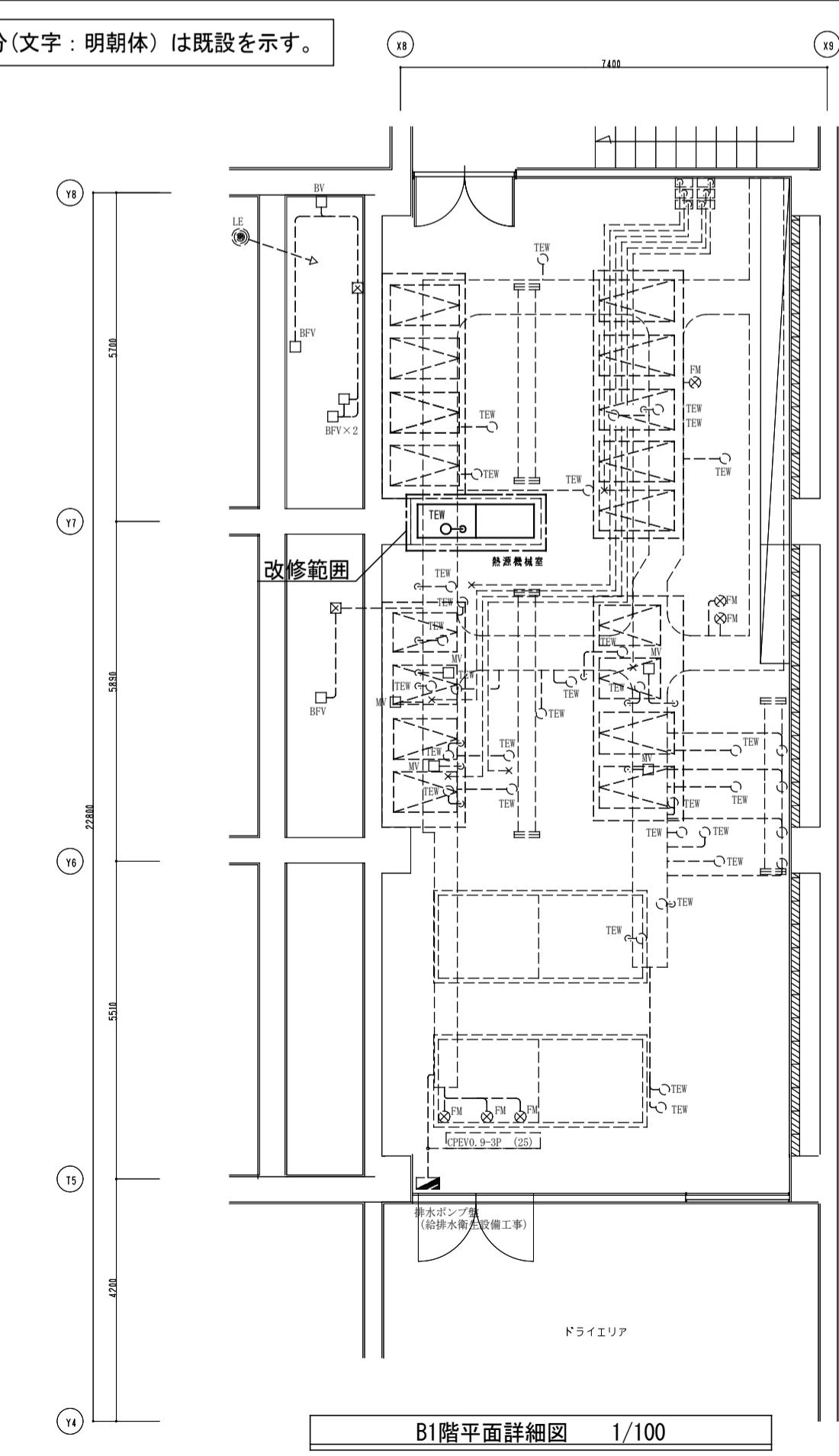
※実線部分(文字:ゴシック体)は新設を示し、細破線部分(文字:明朝体)は既設を示す。

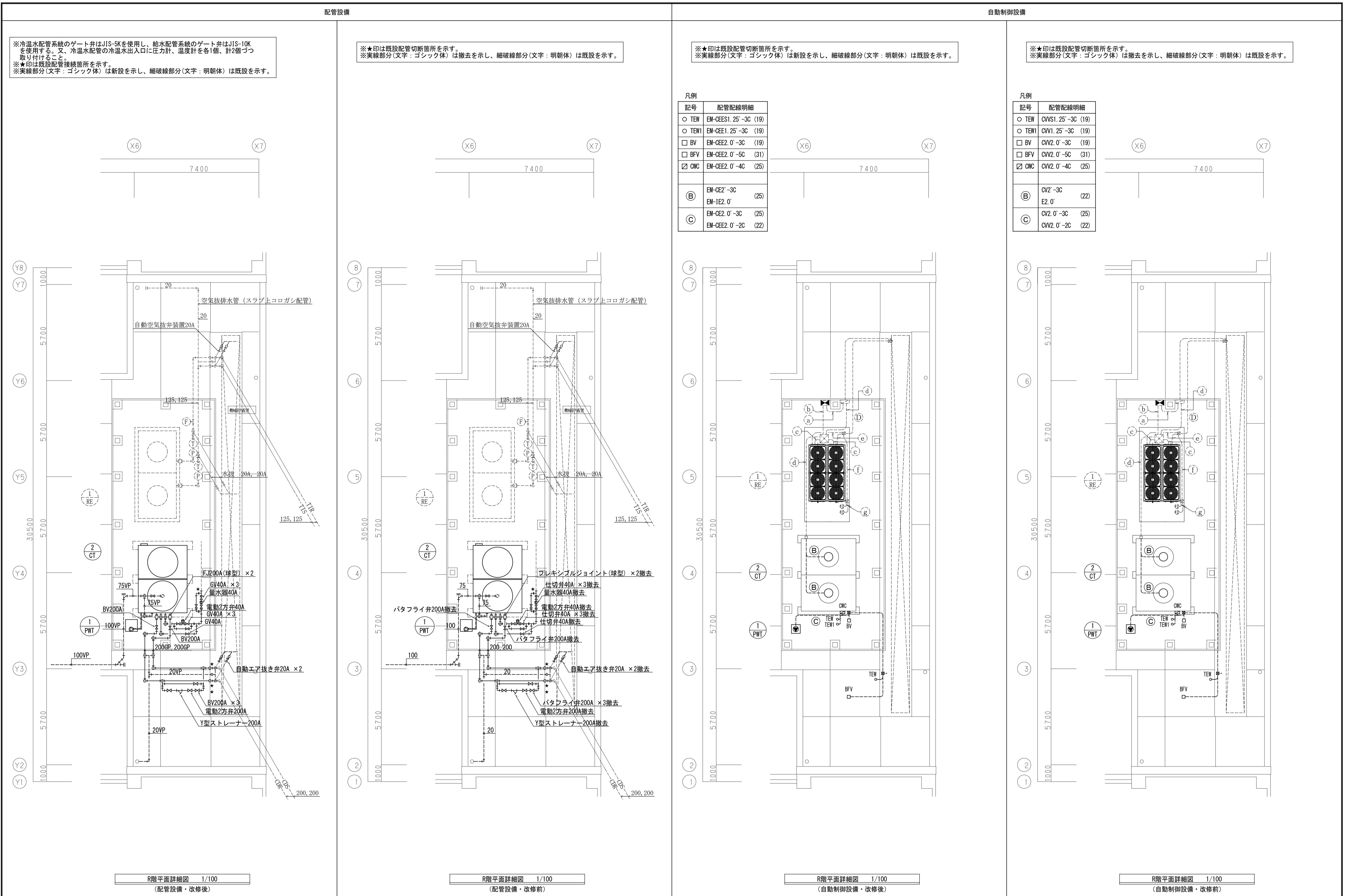
凡例	記号	配管配線明細
○	TEW	EM-CEES1.25-3C (19)



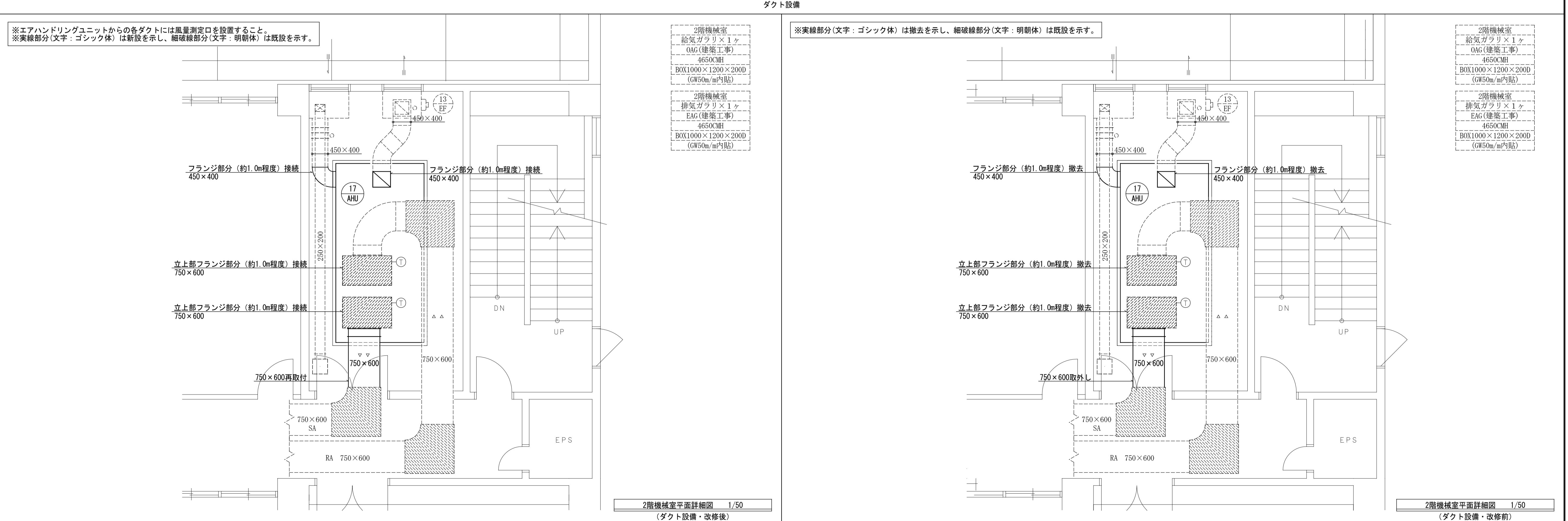
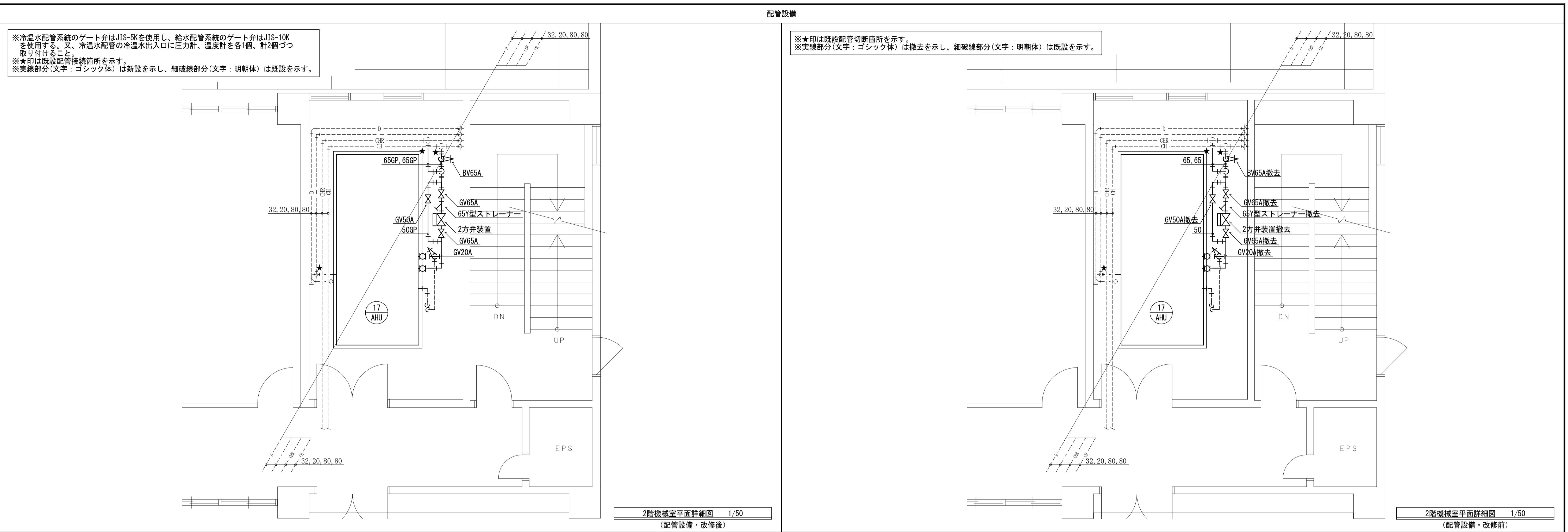
※実線部分(文字:ゴシック体)は撤去を示し、細破線部分(文字:明朝体)は既設を示す。

凡例	記号	配管配線明細
○	TEW	CVVS1.25-3C (19)

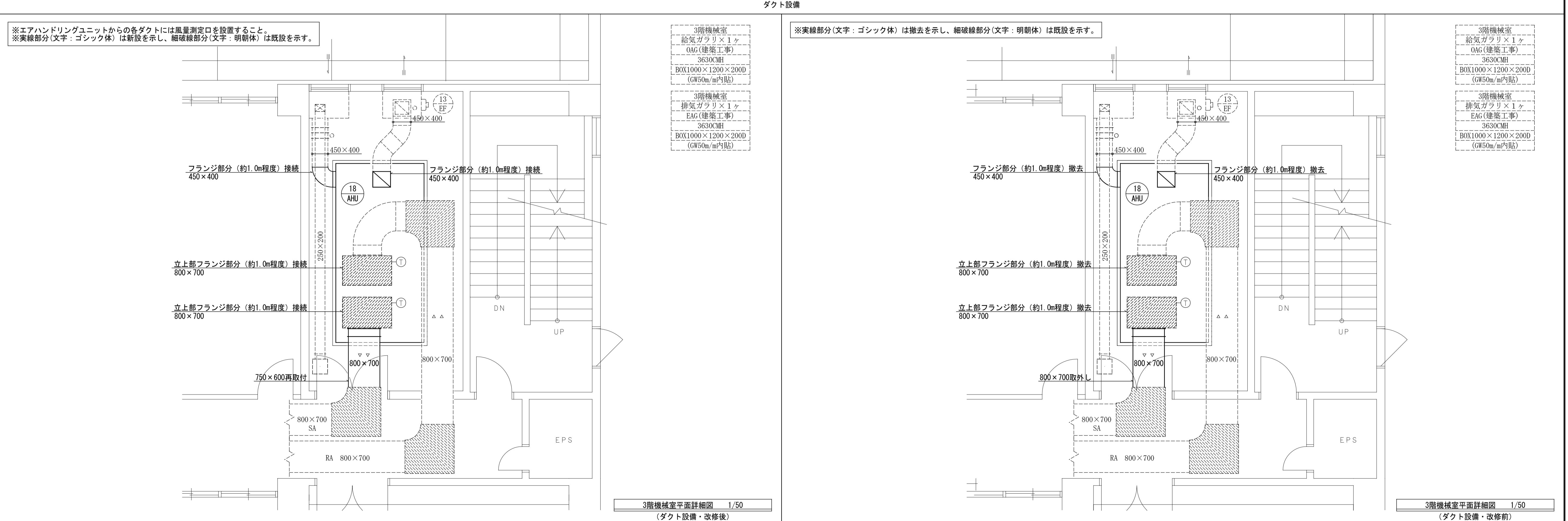
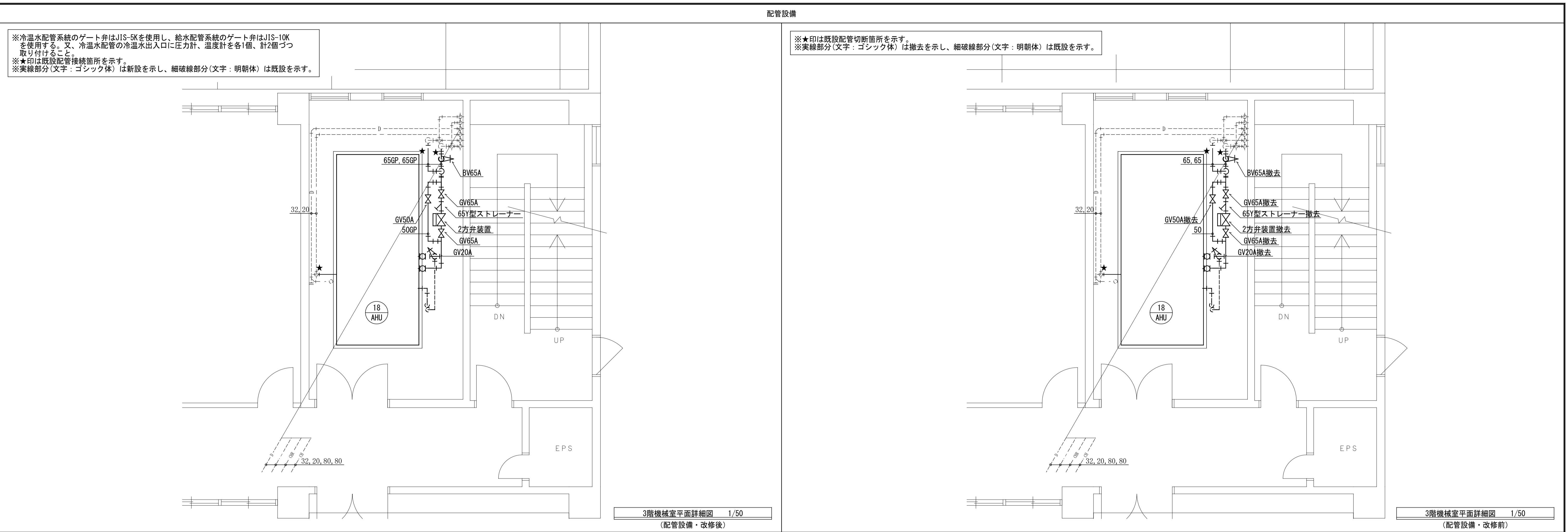




工事名称	熊本県立大学大講義棟2号館その他空調設備(AHU等) 改修工事	株式会社 本田設計コンサルタント	熊本市東区戸島1丁目13番58号 TEL 096-380-3633 FAX 096-380-3613	熊本県知事登録 第1805号 一級建築士 本田直也 第349038号	縮尺 A1=1/100 A3=1/200	日付 2022.6	図面名称 空気調和設備・自動制御設備 (改修後・改修前)(大ホール)	R階平面詳細図 (改修後・改修前)(大ホール)	番号 M-10	印
------	------------------------------------	------------------	---	---------------------------------------	-------------------------	-----------	---------------------------------------	----------------------------	---------	---



工事名称	熊本県立大学大講義棟2号館その他空調設備(AHU等) 改修工事	株式会社 本田設計コンサルタント	熊本市東区戸島1丁目13番58号 TEL 096-380-3633 FAX 096-380-3613	熊本県知事登録 第1805号 一級建築士 本田 直也 第349038号	A1=1/50 A3=1/100	日付	2022.6	図面名称	空気調和設備 2階平面詳細図(改修後・改修前) (講義棟2号館)	番号	M-11	印
------	------------------------------------	------------------	---	--	---------------------	----	--------	------	-------------------------------------	----	------	---

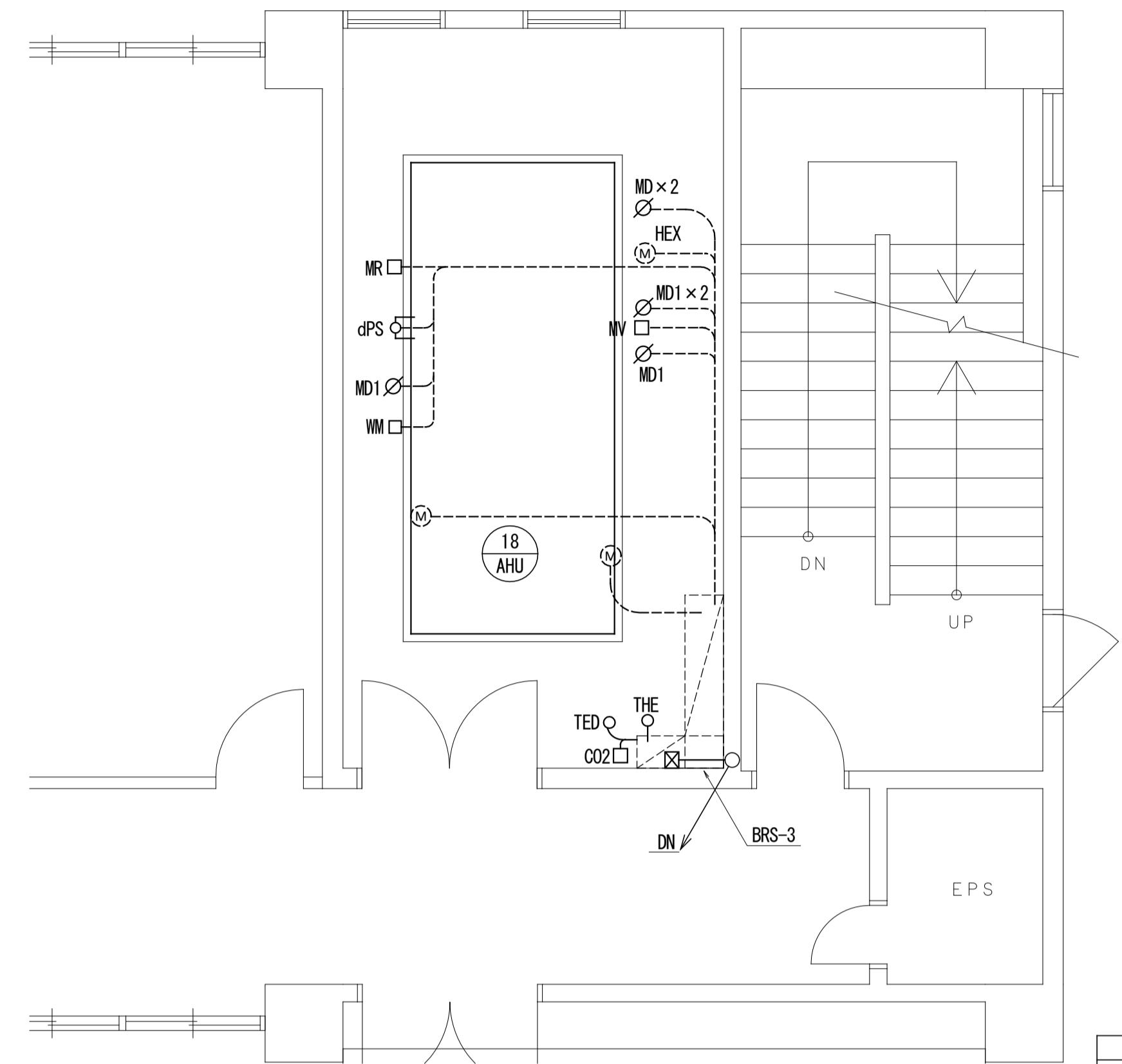


工事名称	熊本県立大学大講義棟2号館その他空調設備(AHU等) 改修工事	株式会社 本田設計コンサルタント	熊本市東区戸島1丁目13番58号 TEL 096-380-3633 FAX 096-380-3613	熊本県知事登録 第1805号 一級建築士 本田直也 第349038号	縮尺 A1=1/50 A3=1/100	日付 2022.6	図面名称 空気調和設備 3階平面詳細図(改修後・改修前) (講義棟2号館)	番号 M-12	印
------	------------------------------------	------------------	---	---------------------------------------	------------------------	-----------	--	---------	---

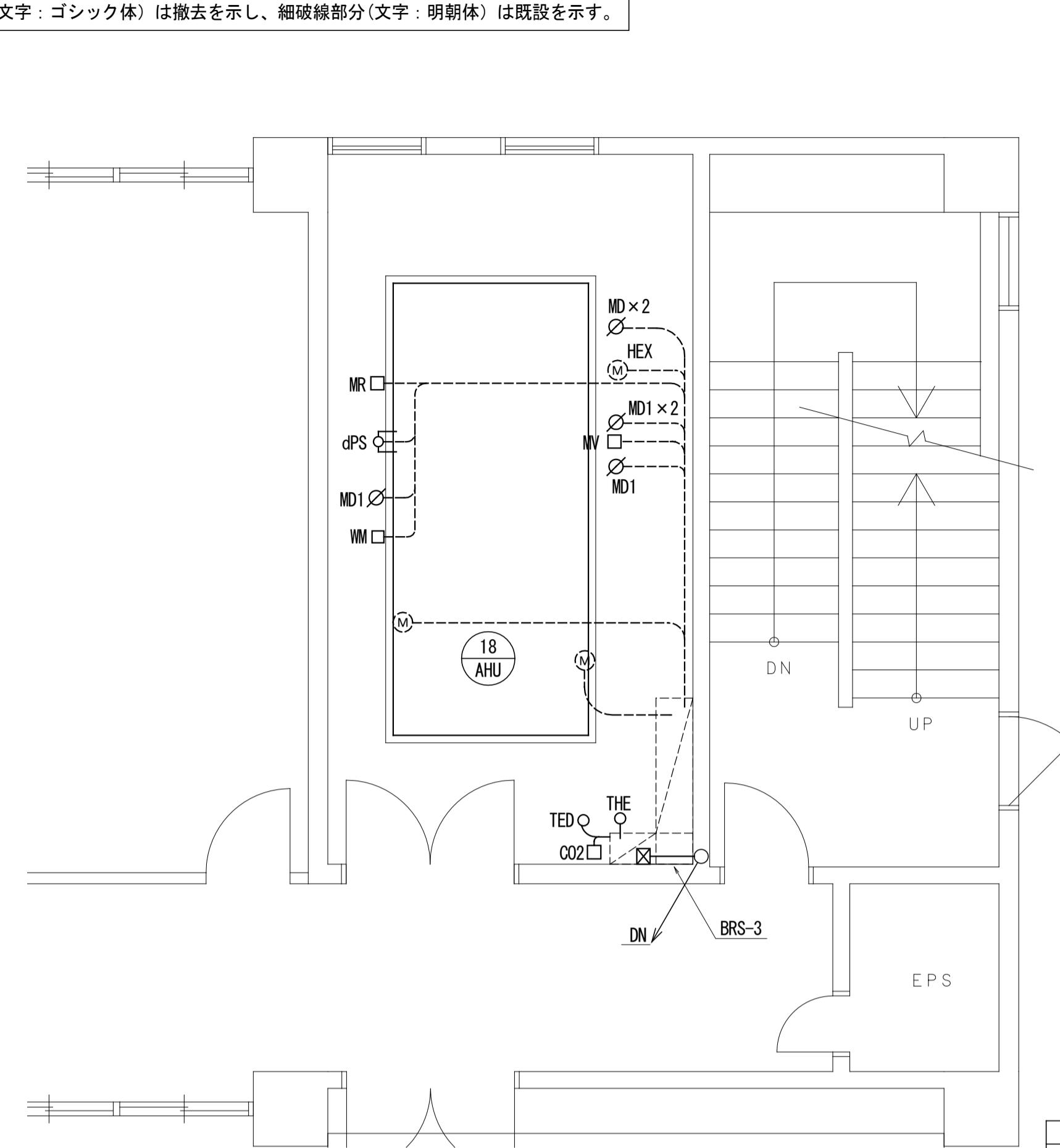
自動制御設備

※実線部分(文字:ゴシック体)は新設を示し、細破線部分(文字:明朝体)は既設を示す。

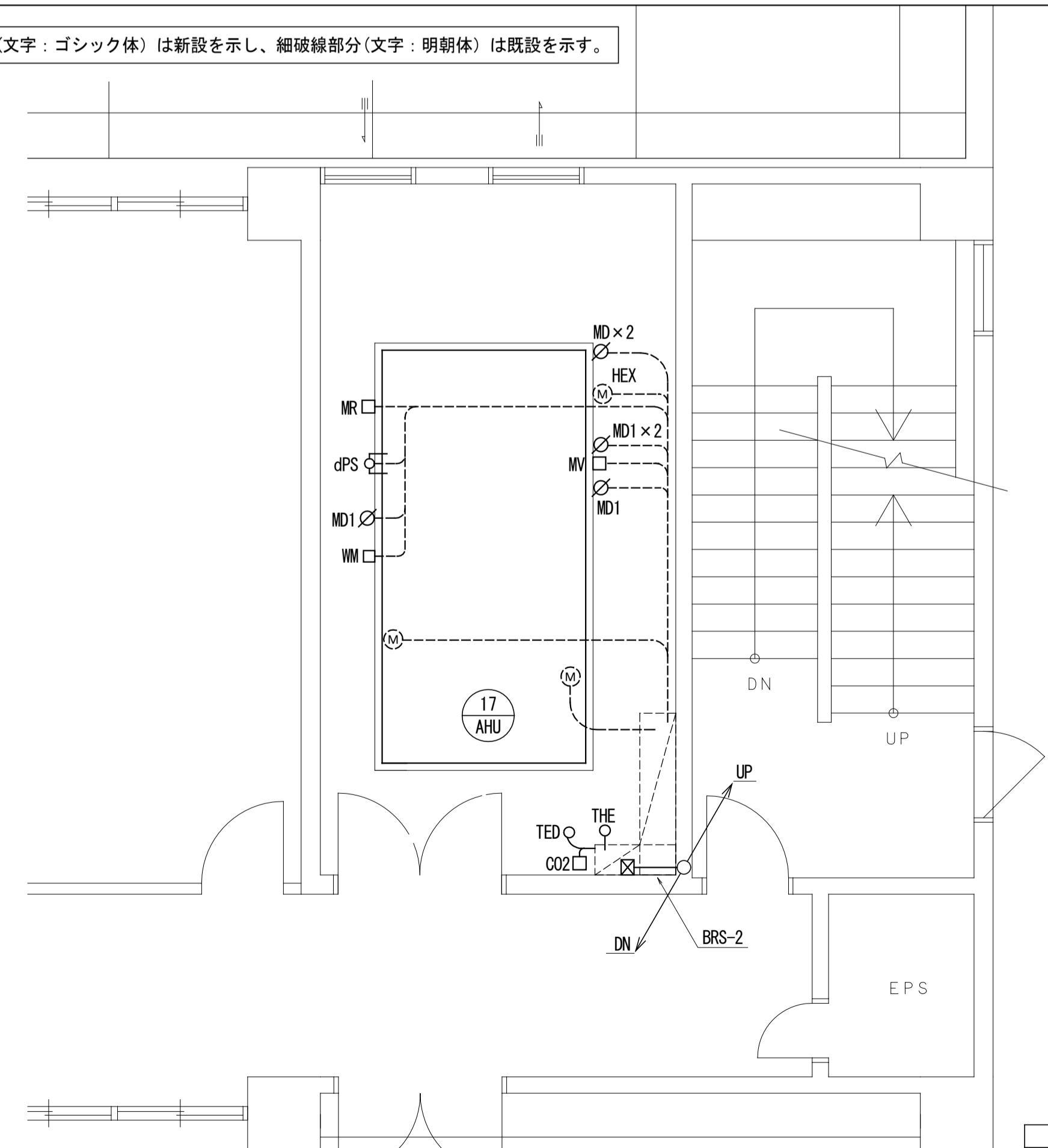
凡例	
記号	配管記録明細
○ THE	EM-CEES1.25'-8C (25)
□ CO2	EM-CEE2.0'-3C (19)
EM-CEES1.25'-2C (19)	
Ø MD	EM-CEE1.25'-3C (19)
Ø MD1	EM-CEE1.25'-6C (25)
□ MR	EM-CEE1.25'-6C (25)
□ WM	EM-CEE2.0'-3C (19)
□ DPS	EM-CEE1.25'-2C (19)

3階機械室平面詳細図 1/50
(自動制御設備・改修後)

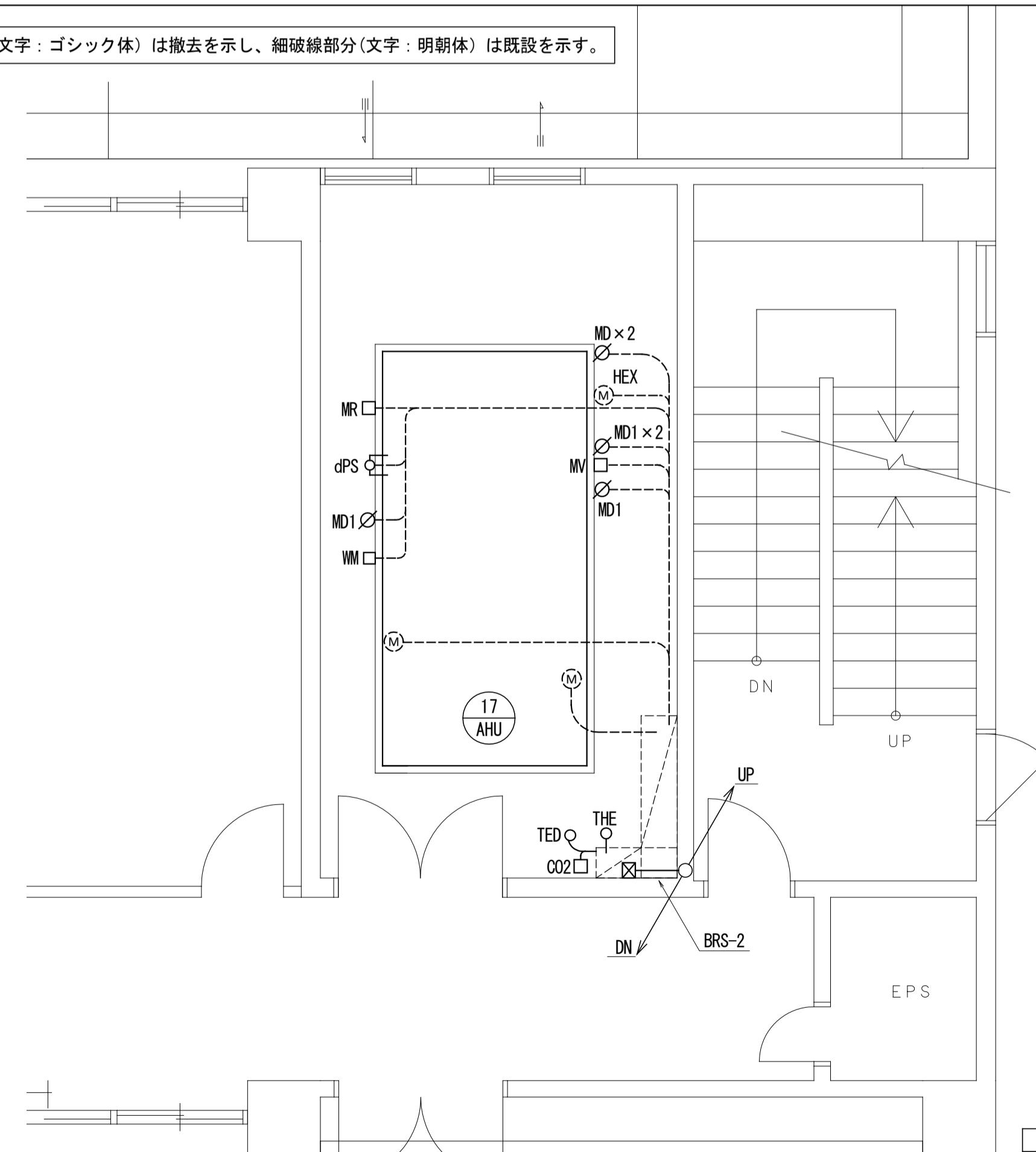
凡例	
記号	配管記録明細
○ THE	CVVS1.25'-8C (25)
□ CO2	CVV2'-3C (25)
CVVS1.25'-2C (25)	
Ø MD	CVV1.25'-3C (19)
Ø MD1	CVV1.25'-6C (19)
□ MR	CVV1.25'-6C (19)
□ WM	CVV2'-3C (25)
□ DPS	CVV1.25'-2C (25)

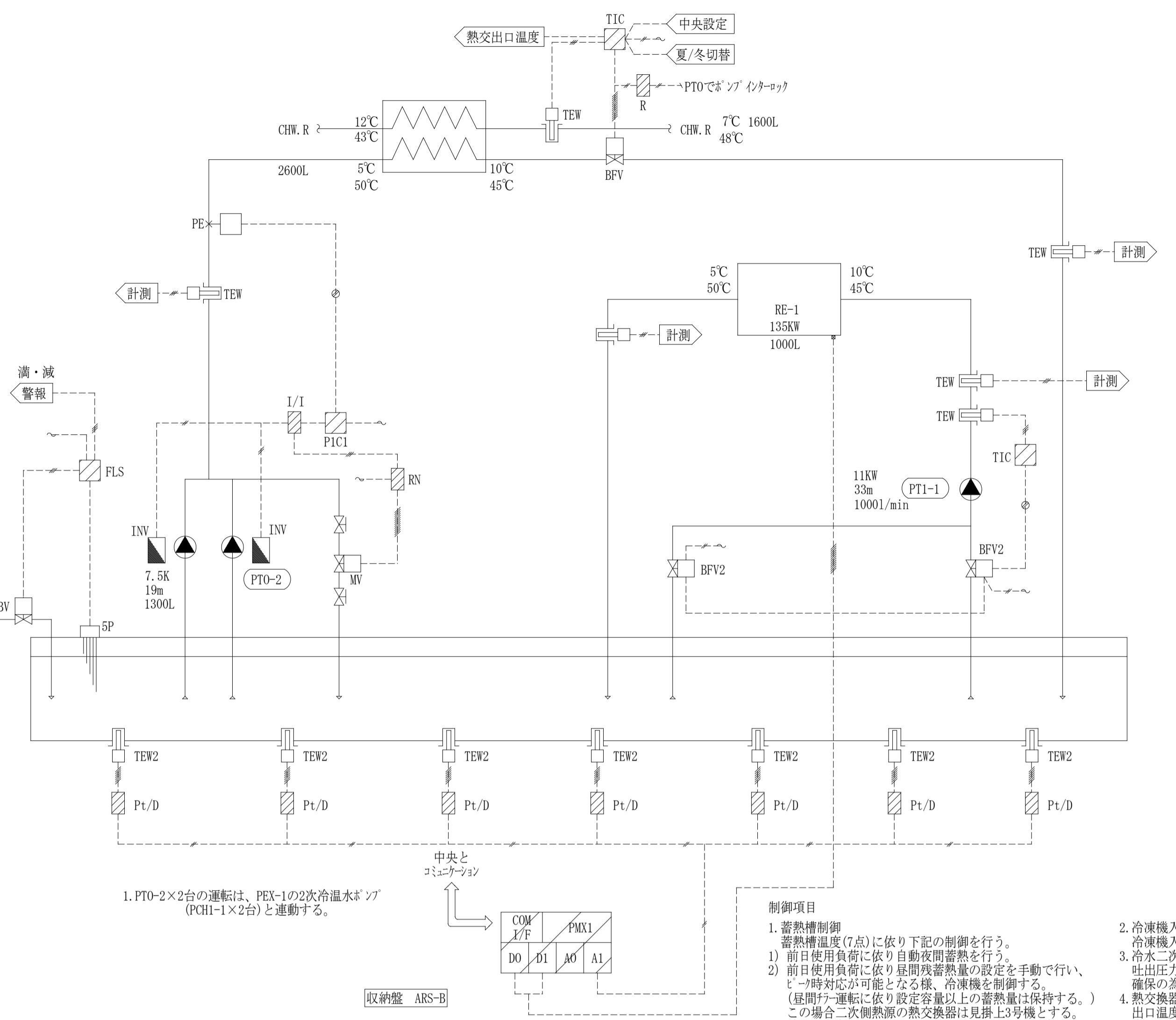
3階機械室平面詳細図 1/50
(自動制御設備・改修前)

凡例	
記号	配管記録明細
○ THE	EM-CEES1.25'-8C (25)
□ CO2	EM-CEE2.0'-3C (19)
EM-CEES1.25'-2C (19)	
Ø MD	EM-CEE1.25'-3C (19)
Ø MD1	EM-CEE1.25'-6C (25)
□ MR	EM-CEE1.25'-6C (25)
□ WM	EM-CEE2.0'-3C (19)
□ DPS	EM-CEE1.25'-2C (19)

2階機械室平面詳細図 1/50
(自動制御設備・改修後)

凡例	
記号	配管記録明細
○ THE	CVVS1.25'-8C (25)
□ CO2	CVV2'-3C (25)
CVVS1.25'-2C (25)	
Ø MD	CVV1.25'-3C (19)
Ø MD1	CVV1.25'-6C (19)
□ MR	CVV1.25'-6C (19)
□ WM	CVV2'-3C (25)
□ DPS	CVV1.25'-2C (25)

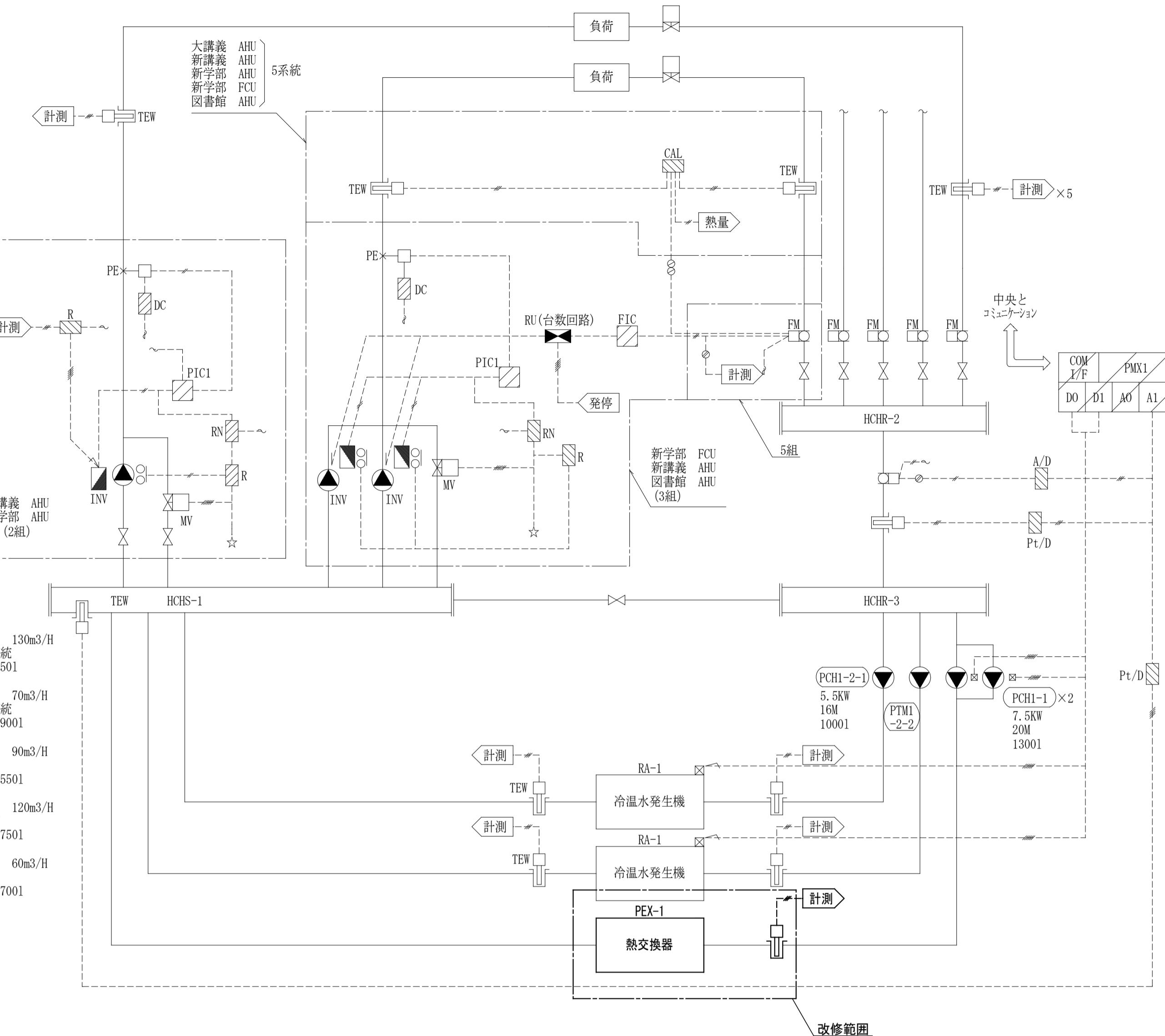
2階機械室平面詳細図 1/50
(自動制御設備・改修前)



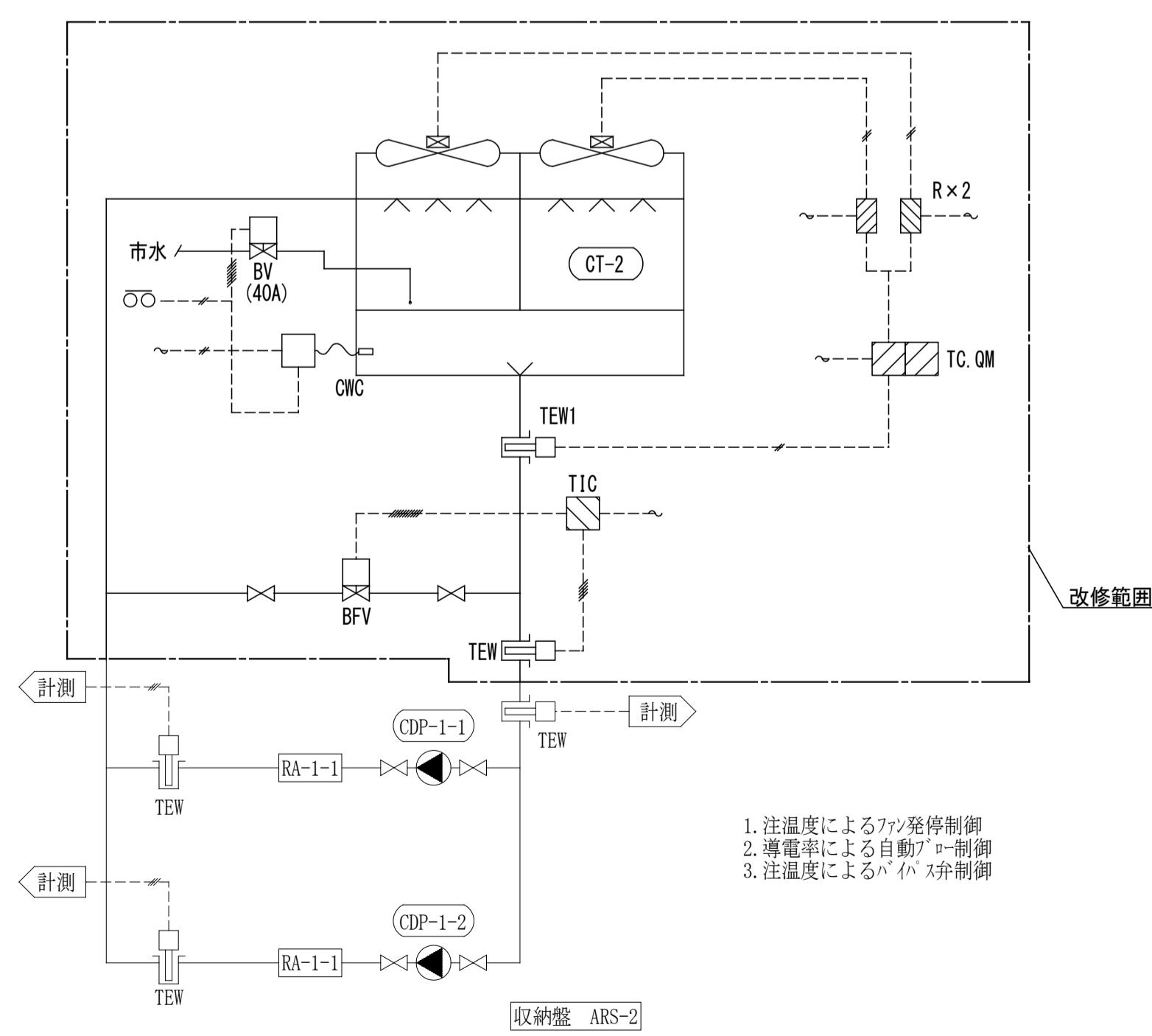
1. PT0-2×2台の運転は、PEX-1の2次冷温水ポンプ(PCH1-1×2台)と連動する。

制御項目

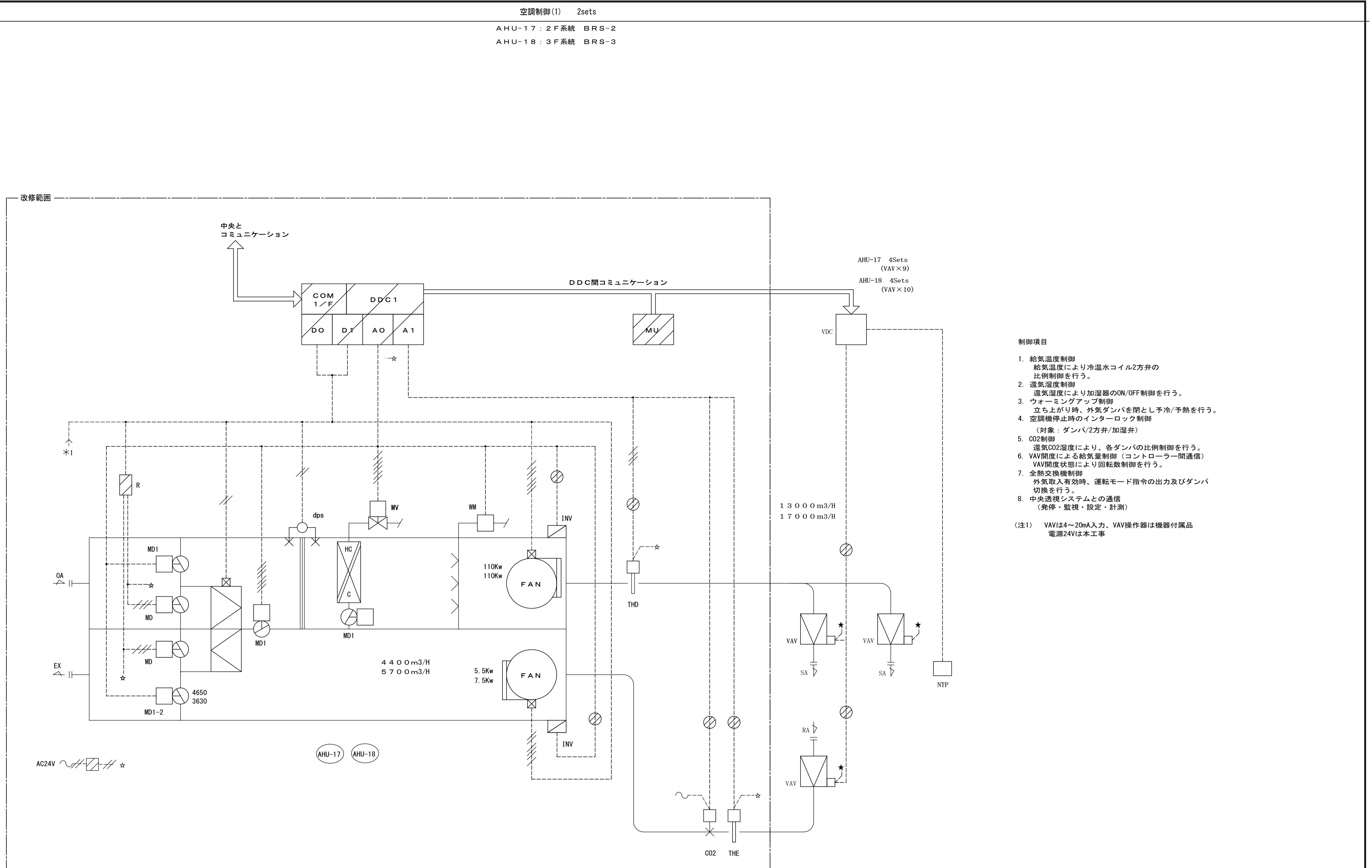
1. 蓄熱槽制御
蓄熱槽温度(7点)に依り下記の制御を行う。
 - 1) 前日使用負荷に依り自動夜間蓄熱を行う。
 - 2) 前日使用負荷に依り昼間蓄熱量の設定を手動で行い、
ピーク時対応が可能となる様、冷凍機を制御する。
(昼間チラー運転に依り設定容量以上の蓄熱量は保持する。)
この場合二次側熱源の熱交換器は見掛上3号機とする。
前日使用負荷が翌日がピークとなると予測される時は、予め
決められた時間帯まで熱交換器は台数制御除外とし、ピーク
時熱交換器を台数制御ベースとし冷凍機を追従制御させる



送水圧力によるバース弁制御及びインバータ制御
負荷流量によるポンプ台数制御
加压による熱源台数制御
ベースポンプの自動ローテーション
ポンプインターロック信号
中央監視システムとの通信
(発停・監視・設定・計測)



1. 注温度によるファン発停制御
2. 導電率による自動ブローバイ制御
3. 注温度によるバッパ弁制御



工事名称	熊本県立大学大講義棟2号館その他空調設備(AHU等) 改修工事	株式会社 本田設計コンサルタント	熊本市東区戸島1丁目13番58号 TEL 096-363-3633 FAX 096-360-3613	熊本県知事登録 第1805号 一級建築士 本田直也 第349038号	A1=NO SCALE A3=NO SCALE	日付	2022.6	図面名称	自動制御設備 計装図(2)(改修後・改修前) (講義棟2号館)	番号	M-15	印
------	------------------------------------	------------------	---	---------------------------------------	----------------------------	----	--------	------	------------------------------------	----	------	---

自動制御機器表

記号	名称	型番	備考
TEW	挿入型温度検出器	TY7701816	Pt100Ω
TEW1	挿入型温度検出器	LY7201A1007	J-315046B
TEW2	蓄熱槽温度検出器	TY8301A/QY8001A	
PE	圧力発信器	JT6240	Pt100Ω
TC, QM	温度調節器	R7702A/Q7705A	0~10kg/?
CWC	ミキシング调节器	R7010B	2段
TIC	温度指示調節計	SDC200	
PICI	圧力指示調節計	SDC200	
RN	モードライバ-	RN796A	4~20mA/MM出力
FIC	流量指示調節計	SDC200	
CAL	デジタル热量演算器	WY7100A	
A/D	アナログ変換器	83146040-907	
Pt/D	Pt/D変換器	83146040-922	
PMX1	台数制御装置	WY7043E	蓄熱用2台
PMX2	台数制御装置	WY7044E	
DC	直流電源	RY7910D	
R	補助リレー	-	
RV	リレーネット	-	
BFV1	電動バタフライ弁	WY9900B	
BFV2	電動バタフライ弁	VM3-04	4~20mA入力
BV	電動ボルブ弁	VY6100C	
MV	電動二方弁	VY5110, 5111A, B	
INV	インバータ装置	FR-A	
I/I	アソリュート	RY7910S	
FM	電磁流量計/変換器	KID10A/KIX20A	
TED	挿入型温度検出器	TY700A31	JPT100Ω
THE	挿入型温湿度検出器	HY7013B	JPT100Ω, 0~100mV
CO2	CO2濃度発信器	CY7000A	
NTP1	リモコンパネル(温度センサー付)	QY7105B	
DDC1	デジタルコントローラ	WY7111B	
VDC	VAVコントローラ	WY7106B	
MU	スケーリング	WY7212B	
MD	モーターコンバー	MY6040A	ON-OFF
MD1	モーターコンバー	MY6040A/QY9000A	比例
dPS	差圧スイッチ	MS-61	
T1	マイクロスイッチ	TY7600A	
RU	リレー電源ユニット	DY1000A	
VV	小型電動ボルブ弁	VY6010A	
THER	室内型温湿度発信器	HY7098B	JPT100Ω, 0~10mV

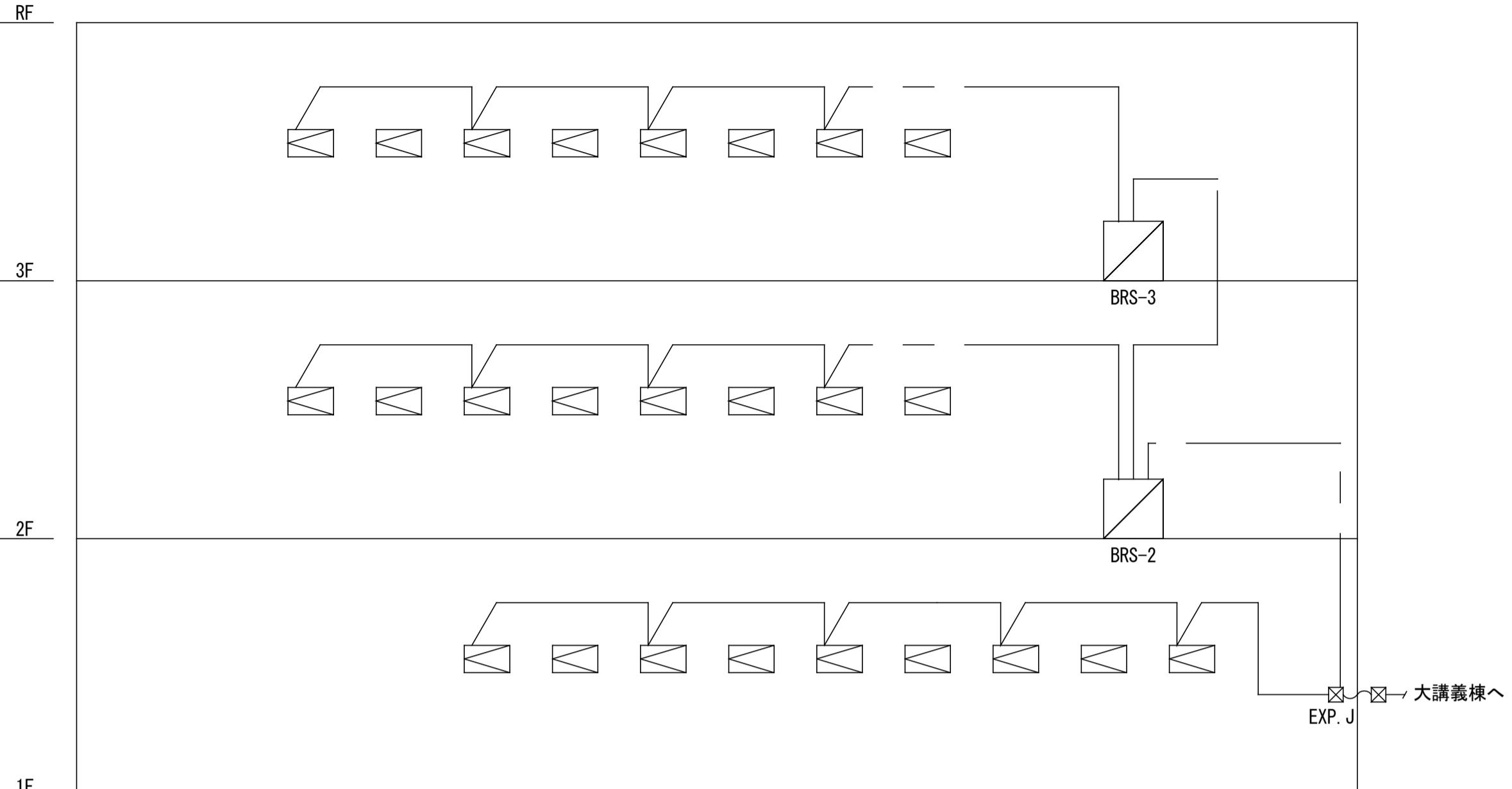
バルブ口径表

系統名	流体	流量(l/min)	△P(m)	CV	口径(A)	型番
PEX-1	一次二方弁	冷温水	2600	0.15	479	125 WY9900B
PT1-1	入口二方弁	冷温水	1000	1.5	181	100 VM30412AS
POT-2	バイオ二方弁	冷温水	1300	9.0	95	65 WY5111B
PCH2-1	バイオ二方弁	冷温水	850	22.0	40	40 WY5111A
PCH2-2	バイオ二方弁	冷温水	900	9.4	65	50 WY5111B
PCH2-3	バイオ二方弁	冷温水	650	33.1	25	40 WY5111A
PCH2-4	バイオ二方弁	冷温水	750	17.2	40	40 WY5111A
PCH2-5	バイオ二方弁	冷温水	700	15	40	40 WY5111B
電磁流量計 (新学部AHU)	冷温水	921	-	-	80	KID10A
電磁流量計 (語学部FCU)	冷温水	1159	-	-	80	KID10A
電磁流量計 (大講義AHU)	冷温水	797	-	-	80	KID10A
電磁流量計 (新講義AHU)	冷温水	1576	-	-	100	KID10A
電磁流量計 (図書館棟AHU)	冷温水	1571	-	-	100	KID10A
電磁流量計 (総合流量)	冷温水	6024	-	-	150	KID10A
冷却水二方弁	冷却水	3200	0.22	479	125	WY9900B
AHU-9	冷温水コイル	331	0.34	40	40	WY5100A
AHU-10-1	冷温水コイル	175	0.24	25	32	WY5100A
AHU-10-2	冷温水コイル	175	0.24	25	32	WY5100A
AHU-11-1	冷温水コイル	80	0.31	10	20	WY5100A
AHU-11-2	冷温水コイル	80	0.31	10	20	WY5100A
AHU-11-3	冷温水コイル	80	0.31	10	20	WY5100A
AHU-12	冷温水コイル	467	0.25	65	50	WY5100A
AHU-13	冷温水コイル	330	0.33	40	40	WY5100A
AHU-14	冷温水コイル	110	0.10	25	32	WY5100A
AHU-15	冷温水コイル	490	0.28	65	50	WY5100A
AHU-16	冷温水コイル	477	0.26	65	50	WY5100A
AHU-17	冷温水コイル	233	0.17	40	40	WY5100A
AHU-18	冷温水コイル	260	0.21	40	40	WY5100A
蓄熱槽給水弁	市水	-	-	110	50	WY6100C
冷却塔補給水槽	市水	-	-	55	40	WY6100C

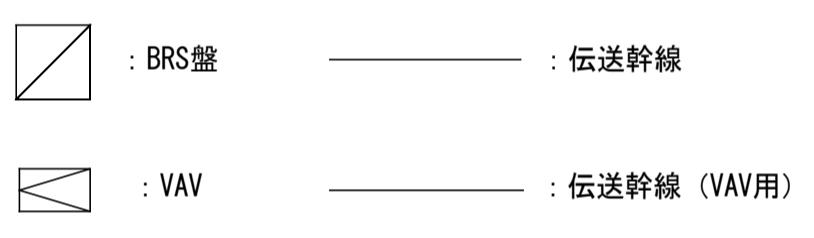
中央管理点入出力一覧表

注) COS故障：中央監視からの指令と現場の運転状態が異なった時に発報する。
(手元運転、トリップ故障の場合も発報)

中央監視系統図



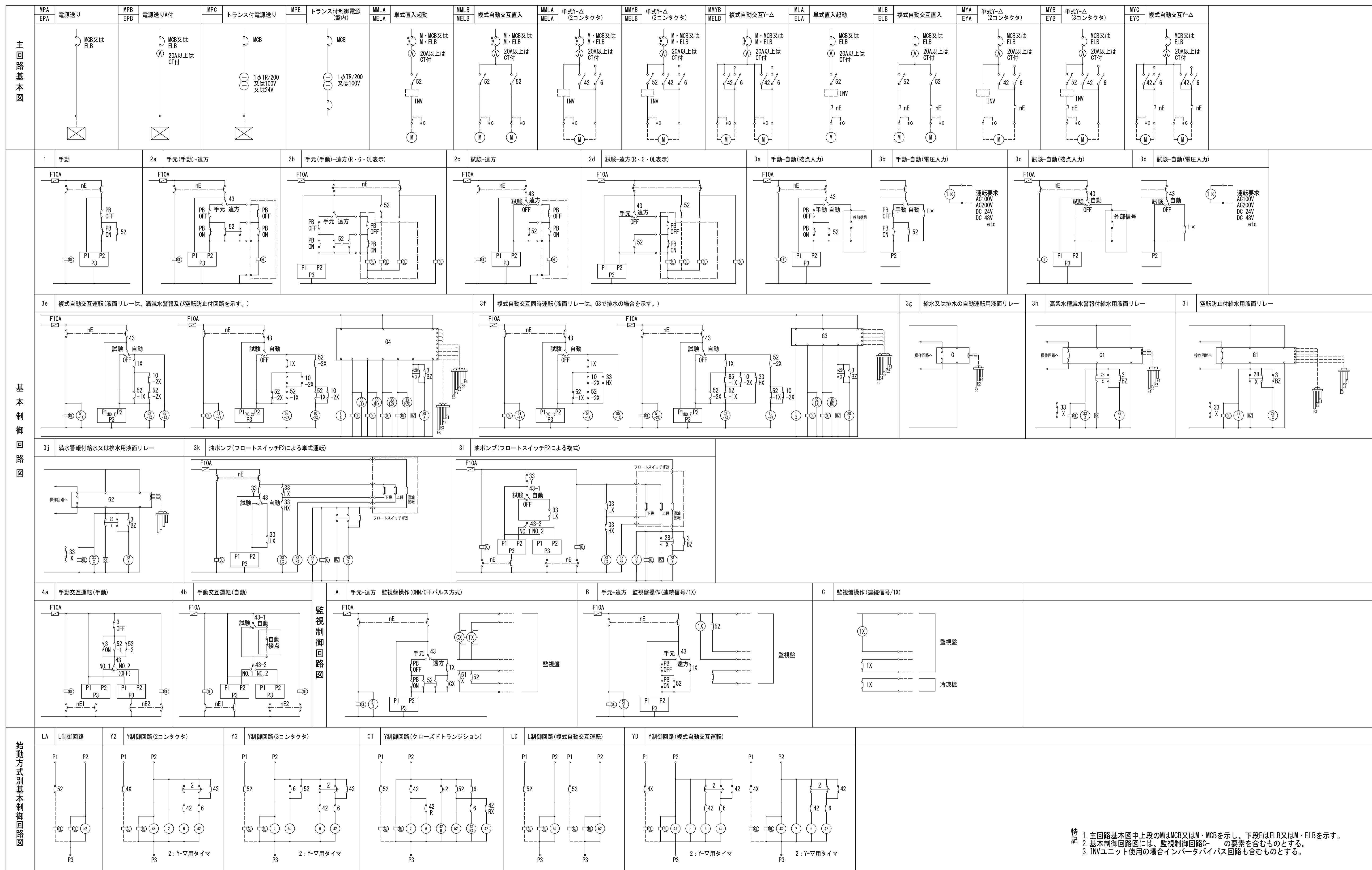
凡例



動力負荷表

盤名称	主回路結線	電源		主回路記号	機器記号	負荷名称	容量(KVA)	開閉器容量	制御回路	始動方式	インカット	操作表示				中央監視盤			
		相	電圧									操作	運転表示	故障表示	警報	発停	状態	故障	警報
BRS-2		3	200	MYB	AHU-17	給気ファン	11.0	100A	A	Y3	1	○	○	○		○	○	○	
		3	200	MLA	AHU-17	還気ファン	5.5	50A	B	LA	1	○	○	○		○	○	○	
		3	200	MPB	AHU-17	全熱交換器	0.2	30A	C										
		1	200	MPA	AHU-17	加湿器	0.12	30A			1								
		1	200	MPA	AHU-17	マリンランプ	0.06	30A											
		1	100	MPC		制御電源	0.5	30A											
BRS-3		3	200	MYB	AHU-18	給気ファン	11.0	100A	A	Y3	2	○	○	○		○	○	○	
		3	200	MYB	AHU-18	還気ファン	7.5	100A	B	LA	2	○	○	○		○	○	○	
		3	200	MPB	AHU-18	全熱交換器	0.1	30A	C										
		1	200	MPA	AHU-18	加湿器	0.12	30A			2								
		1	200	MPA	AHU-18	マリンランプ	0.06	30A											
		1	100	MPC		制御電源	0.5	30A											
ARS-2		3	200	MYB	AHU-12	給気ファン	15.0	100A	A	Y3	4	○	○	○		○	○	○	
		3	200	MYB	AHU-12	還気ファン	7.5	100A	B	Y3	4	○	○	○		○	○	○	
		3	200	MPB	AHU-12	全熱交換器	0.2	30A	C										
		1	200	MPA	AHU-12	加湿器	0.12	30A			4								
		1	200	MPA	AHU-12	マリンランプ	0.06	30A											
		3	200	MYB	AHU-13	給気ファン	15.0	100A	A	Y3	5	○	○	○		○	○	○	
		3	200	MYB	AHU-13	還気ファン	11.0	100A	B	Y3	5	○	○	○		○	○	○	
		3	200	MPB	AHU-13	全熱交換器	0.2	30A	C										
		1	200	MPA	AHU-13	加湿器	0.12	30A			5								
		1	200	MPA	AHU-13	マリンランプ	0.06	30A											
ARS-3		3	200	MLA	CT-2-1	冷却塔	2.2 → 3.7	30A	3b	LA		○	○	○		○	○	○	
		3	200	MLA	CT-2-2	冷却塔	2.2 → 3.7	30A	3b	LA		○	○	○		○	○	○	
		1	200	MPA	PWT-1	薬注ポンプ装置	0.03	30A											
手元開閉器盤		3	200	MLA	AHU-14	給気ファン	5.5	100A	A	LA	6	○	○	○		○	○	○	
		3	200	MLA	AHU-14	還気ファン	3.7	30A	B	LA	6	○	○	○		○	○	○	
		3	200	MPB	AHU-14	全熱交換器	0.1	30A	C										
		1	200	MPA	AHU-14	加湿器	0.12	30A			6								
		1	200	MPA	AHU-14	マリンランプ	0.06	30A											
		3	200	MYB	AHU-15	給気ファン	15.0	100A	A	Y3	7	○	○	○		○	○	○	
		3	200	MYB	AHU-15	還気ファン	11.0	100A	B	Y3	7	○	○	○		○	○	○	
		3	200	MPB	AHU-15	全熱交換器	0.4	30A	C										
		1	200	MPA	AHU-15	加湿器	0.12	30A			7								
		1	200	MPA	AHU-15	マリンランプ	0.06	30A											
手元開閉器盤		3	200	MYB	AHU-16	給気ファン	15.0	100A	A	Y3	8	○	○	○		○	○	○	
		3	200	MYB	AHU-16	還気ファン	11.0	100A	B	Y3	8	○	○	○		○	○	○	
		3	200	MPB	AHU-16	全熱交換器	0.4	30A	C										
		1	200	MPA	AHU-16	加湿器	0.12	30A			8								
		1	200	MPA	AHU-16	マリンランプ	0.06	30A											
		1	24	MPE		VAV電源	0.5	30A											
		1	100	MPC		制御電源	0.6	30A					</td						

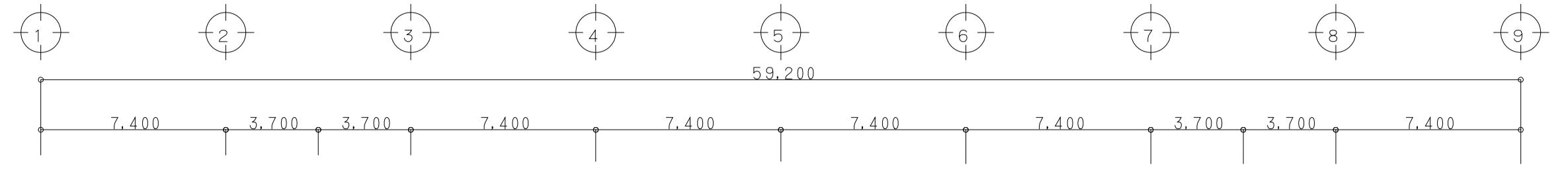
(参考) 既設自動制御



特記

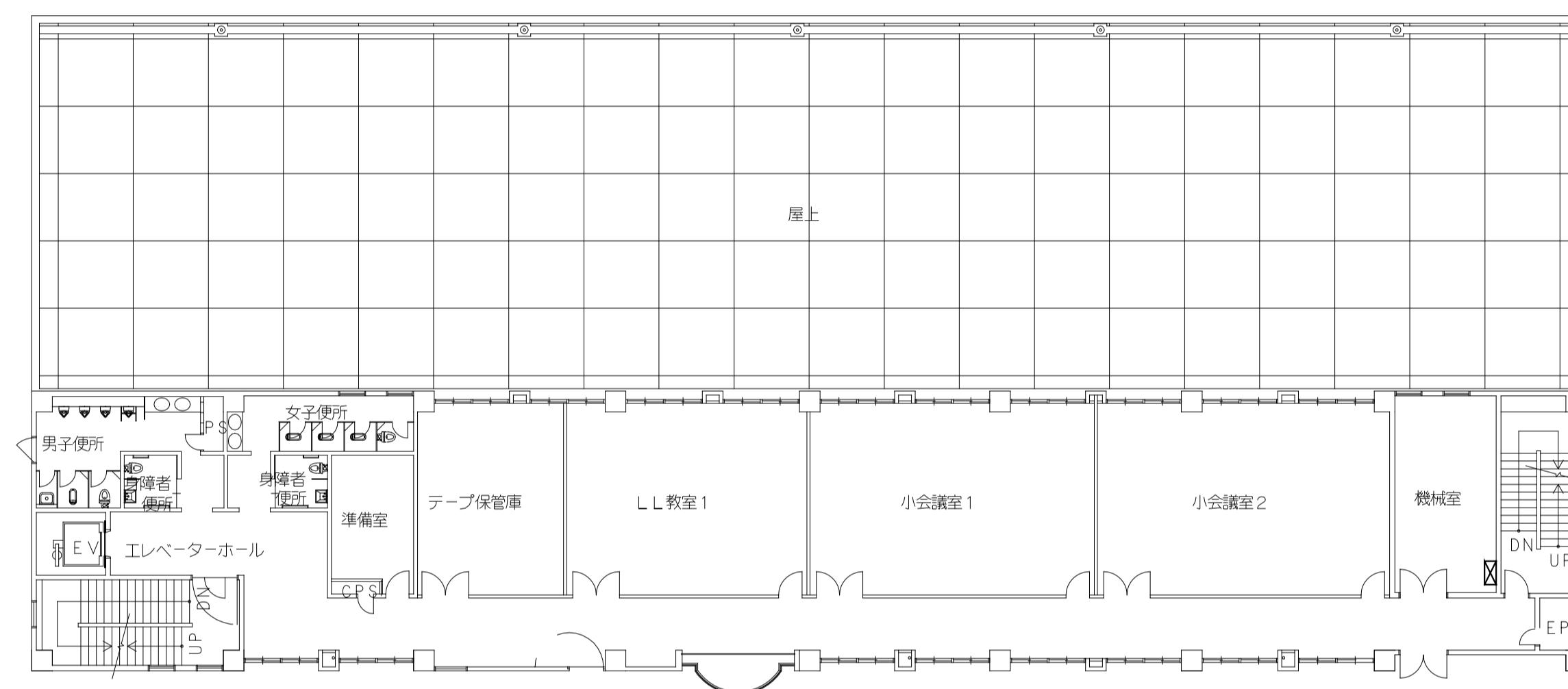
- 主回路基本図中上段のMはMCB又はM・MCBを示し、下段EはELB又はM・ELBを示す。
- 基本制御回路図には、監視制御回路C- の要素を含むものとする。
- INVユニット使用の場合インバータバイパス回路も含むものとする。

工事名称	熊本県立大学大講義棟2号館その他空調設備（AHU等）改修工事	株式会社 本田設計コンサルタント TEL 096-380-3633 FAX 096-380-3613	熊本市東区戸島1丁目13番58号 一級建築士 本田 直也 第349038号	熊本県知事登録 第1805号 A1=NO SCALE A3=NO SCALE	縮尺	日付	2022.6	図面名称	自動制御設備 参考結線図	番号	M-19	印
------	--------------------------------	---	--	--	----	----	--------	------	--------------	----	------	---



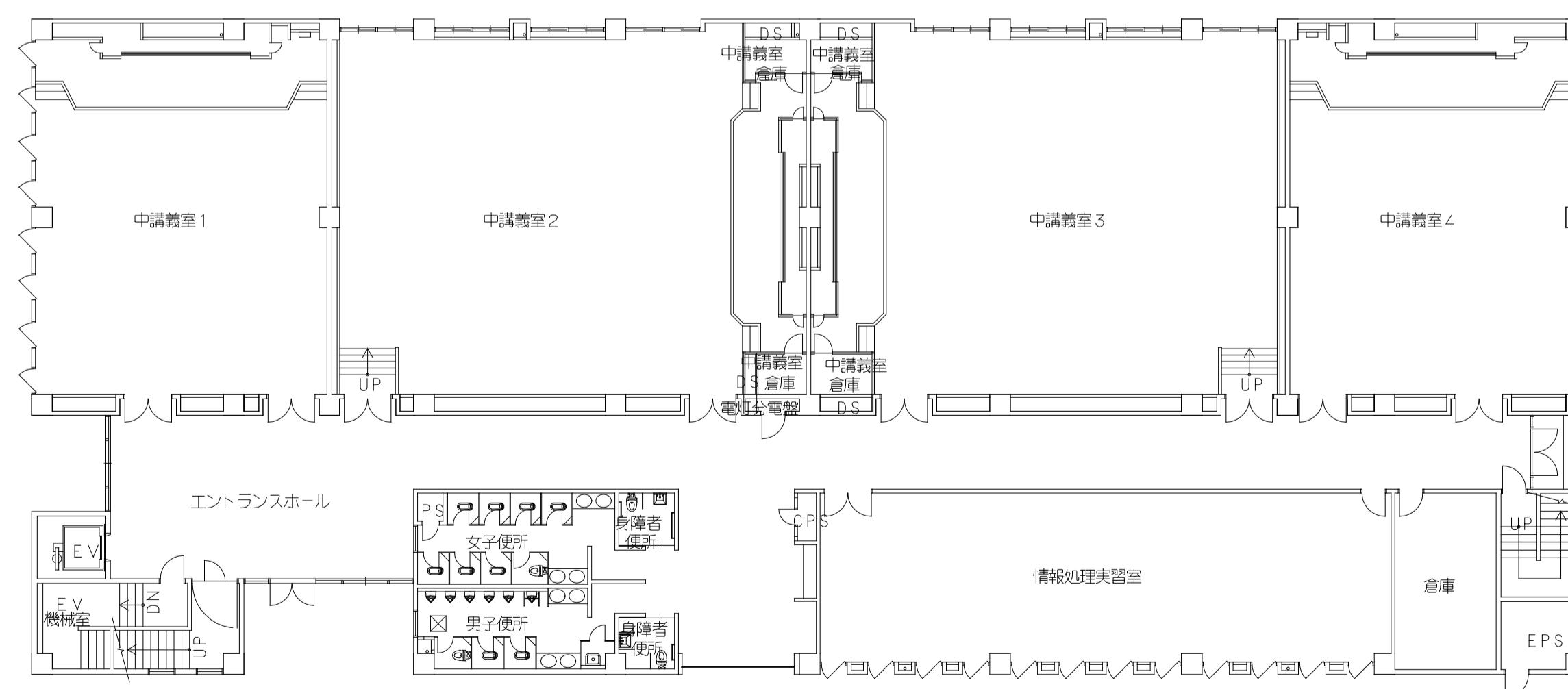
±0.000
J K

3階平面図 1/200



M L
K J
±0.000
7,250
24,500
10,000
7,250

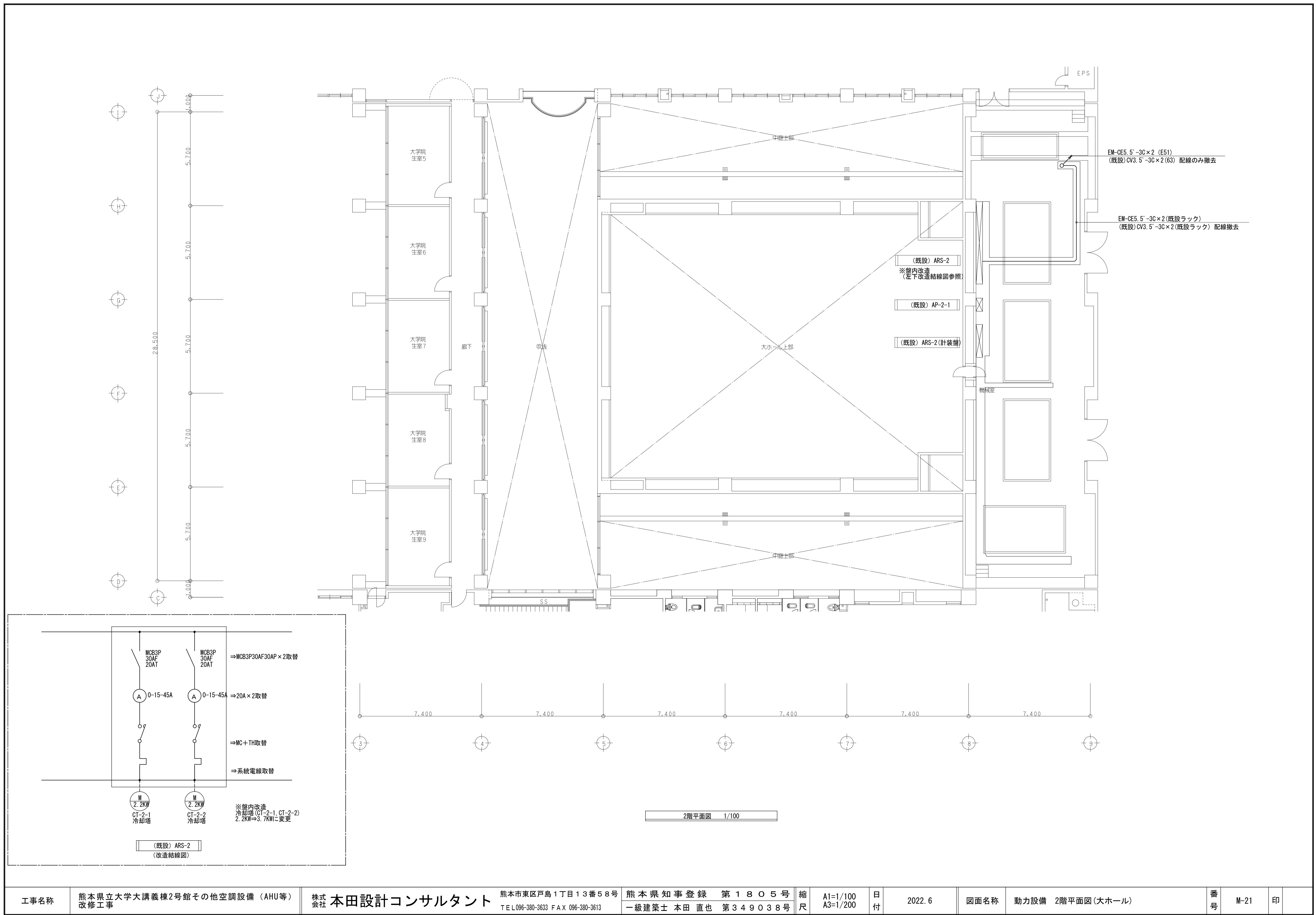
2階平面図 1/200

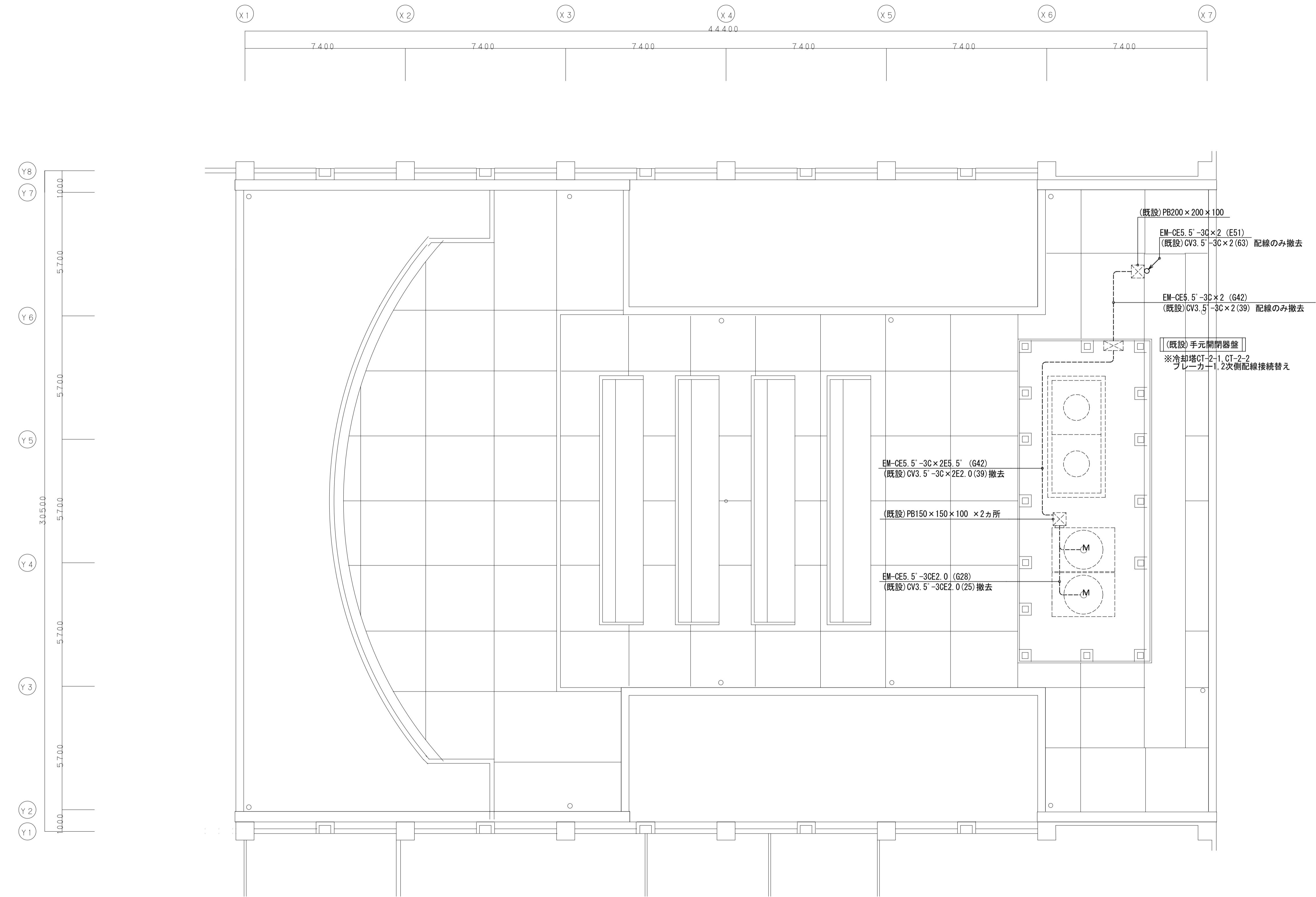


M L
K J
±0.000
7,250
24,500
10,000
7,250

1階平面図 1/200

工事名称	熊本県立大学大講義棟2号館その他空調設備(AHU等) 改修工事	株式会社 本田設計コンサルタント	熊本市東区戸島1丁目13番58号 TEL 096-380-3633 FAX 096-380-3613	熊本県知事登録 第1805号 一級建築士 本田直也 第349038号	縮尺 A1=1/200 A3=1/400	日付 2022.6	図面名称 動力設備 1階, 2階, 3階平面図(講義棟2号館)	番号 M-20	印
------	------------------------------------	------------------	---	---------------------------------------	-------------------------	-----------	---------------------------------	---------	---





R階平面図 1/100

工事名称	熊本県立大学大講義棟2号館その他空調設備（AHU等）改修工事	株式会社 本田設計コンサルタント	熊本市東区戸島1丁目13番58号 TEL 096-380-3633 FAX 096-380-3613	熊本県知事登録 第1805号 一級建築士 本田直也 第349038号	縮尺 A1=1/100 A3=1/200	日付 2022.6	図面名称 動力設備 R階平面図(大ホール)	番号 M-22	印
------	--------------------------------	------------------	---	---------------------------------------	-------------------------	-----------	-----------------------	---------	---